KENWOOD

コンパクト ハイファイ コンポーネントシステム

CLK-7I

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

このモデルは、本体（RD-CLK7）とスピーカー（LS-CLK7）で構成されています。

お客様の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

MP3
WMA

MDLP

© B60-5698-38/04 (J) AB

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前には必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
● 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

⚠警告

ACアダプターは交流100ボルトの電圧で使用する

この機器のACアダプターは、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

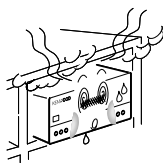
指定のACアダプターを使う

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流（DC）電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

布や布団でおおったりつつんだりしない

ACアダプターは、風通しの悪いところで使用すると、内部に熱がこもり火災の原因となります。

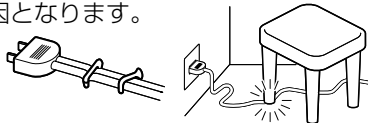
風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

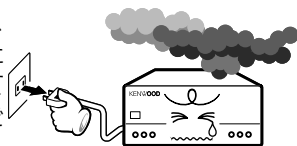
水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

ACアダプターや機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

落としたらACアダプターを抜く

ACアダプターや機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

⚠注意

電源コード、ACアダプターを熱器具に近づけない

電源コード、ACアダプターを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

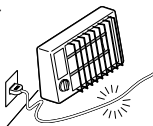
湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときはACアダプターを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときはACアダプターを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際はACアダプターを抜く

お手入れの際はACアダプターをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

⚠注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして､けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速回転しますので､飛び散って、けがの原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

⚠注意

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"－"の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

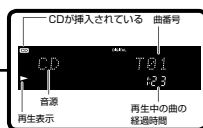
本書の見方

操作手順です。

本機はリモコンでも本体でも操作できる機能がありますが、本書では主としてリモコンによる操作手順を表記しています。

操作で使うリモコンのキーです。

操作中または操作後のディスプレイ表示です。

● この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

各操作のアイコンです。

CDの操作方法を説明します。

USB機器の操作方法を説明します。

MDの操作方法を説明します。

ラジオの操作方法を説明します。

デジタルオーディオプレーヤーの操作方法を説明します。

iPodの操作方法を説明します。

外部機器の操作方法を説明します。

音質設定の操作方法を説明します。

機器設定の操作方法を説明します。

本機の保守について説明します。

リモコンでの操作説明です。

本体での操作説明です。

さらに便利に使うための関連機能です。

CD

関連情報
● 本体で使えるメディア→P.26
● 音質設定→P.103～
● 曲をプログラム再生する→P.41

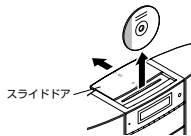
● CD挿入時の注意
- スタンバイ状態のときは、CDの挿入はできません。
- スタンバイ状態のときに、無理にCDを挿入しないでください。故障の原因となります。
- CDが挿入できないときは、CDを引き出し、入れ直してください。
- 再生面には触れないでください。
- 8cm CDアダプターは使用できません。
- 8cm CDの場合、CD挿入口の中央からずれているとCDが引き込まれません。ご注意ください。
- すでにCDが挿入されているときは、スライドドアを開けるとCDが出てきます。

CDを取り出す

1 [■]キーを押して再生を停止する

2 スライドドアを奥にスライドし、CDを取り出す

スライドドアをスライドするとCDが出てきます。

● CDが再生中でも、スライドドアを奥にスライドすると、再生を停止してCDが出てきます。

3 スライドドアを手前にスライドして閉じる

● スタンバイ状態のときは、CDの取り出しはできません。
● CDを取り出すと、プログラム再生の設定内容は消去されます。(P.41)

操作についての補足説明です。

33

こんなことができます

いろいろなフォーマットで記録された
ディスクの再生

音楽CDだけでなく、オーディオファイル（MP3/WMA）を記録したディスクの再生に対応しています。

自分だけのMDを作れる
MDの録音・編集機能

通常の再生や録音だけではなく、デジタル長時間録音や、CDの4倍速録音にも対応。また、録音した曲をいろいろな方法で編集できます。

いろいろなUSB機器に対応した
USB入力端子

USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラスに対応したデジタルオーディオプレーヤーを接続できる、USB端子を搭載しています。

iPodを接続できる
iPod入力端子

アップル社製iPodを楽しむための、iPod接続端子を搭載しています。

いろいろな機器に対応した
外部入力端子

カセットデッキやビデオデッキなどを接続できるAUX入力端子を搭載しています。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーに対応した
D.AUDIO IN端子

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの入力端子を搭載し、本機やリモコンで操作できます。

いろいろな音源を録音できる
REC OUT機能

ケンウッド製メモリーオーディオプレーヤーを接続して、いろいろな音源を録音できます。

もくじ

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

お使いになる前に

必ずお読みください

音源別操作編

P.31

音源別に接続や操作の方法を説明します

- CD
- USB
- MD
- FM/AMラジオ
- D.AUDIO
- iPod
- 外部機器

録音・編集編

P.67

録音やMDの編集方法を説明します

- MD
- D.AUDIO

音質設定編

P.103

お好みの音で聞く方法を説明します

- EX.BASS
- SOUND

機器設定編

P.107

本機の各種設定方法を説明します

- 時刻設定
- タイマー設定
- ディスプレイ設定
- オートパワーセーブ

保守編

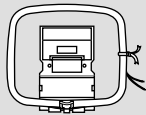
P.117

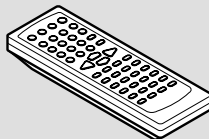
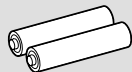
長くお使いいただくために

- メッセージ表示一覧
- 故障かな？と思ったら
- 用語集
- 保管とお手入れ
- 保証とアフターサービス
- ケンウッド全国サービス網
- 定格

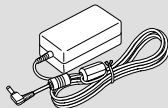
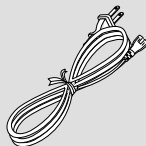
付属品について

付属品

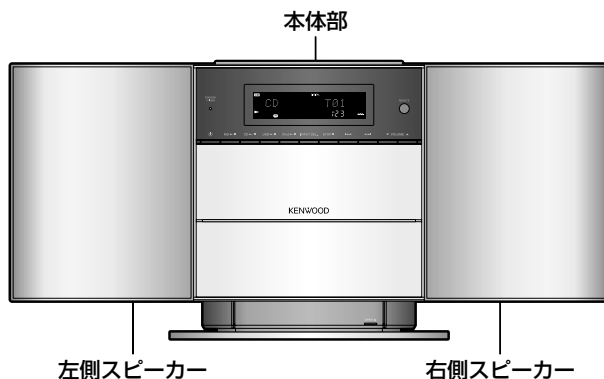
AMループアンテナ
（1個）

FM室内アンテナ
（1本）

リモコン
（RC-F0711：1個）

リモコン用乾電池
（単3形：2本）

スピーカーコード
（50cm：2本）

● スピーカーコードは、出荷時に接続されています。

ACアダプター
（AC-120400A：1個）

電源コード
（1本）

設置するときは

本機を設置するときのご注意

- 本機は必ず平らで安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合には、必ず台の強度を確認してから設置してください。
- テレビやパソコンから少し離した場所に設置してください。スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。
- 本機を移動するときは、必ず本体部を持ってください。スピーカー部を持つと、本体部が落下する場合があります。

⚠ 注意

機器を設置するときは、下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
  上面：50cm以上　側面：10cm以上　背面：10cm以上

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。
完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

音響効果を楽しんでいただくために

スピーカーの配置によって音は変化します。よりよい音質をお楽しみいただくために下記を参考にしてください。

- 左右のスピーカーの周囲の環境をできるだけ同じにする。左右のスピーカーを壁から離れたところに設置し、窓に厚手のカーテンなどを掛けて、できるだけ音の反響を少なくする。
- 鑑賞時の耳の位置と同じ高さに設置する。

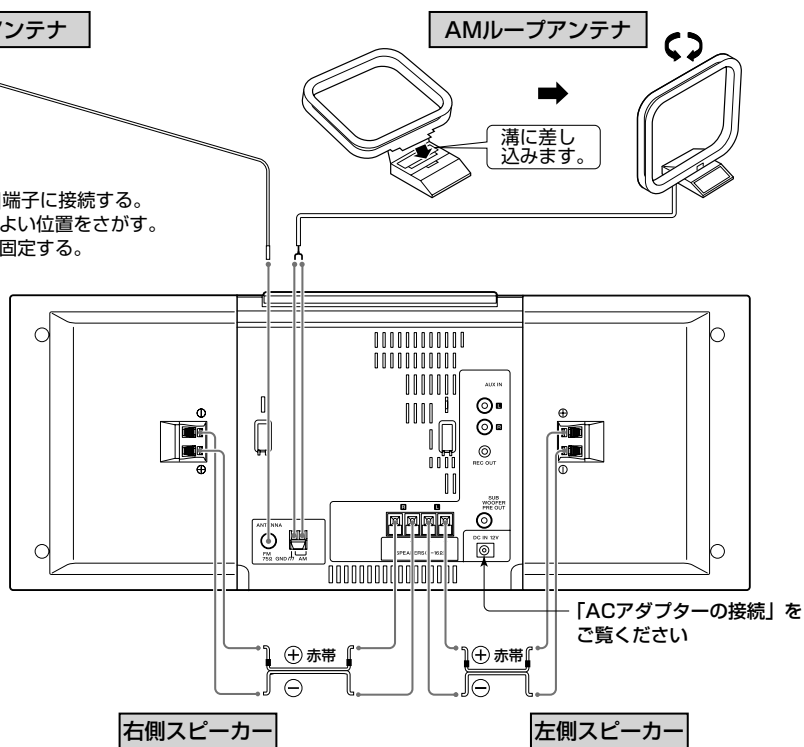
ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

接続のしかた

基本接続

接続上のご注意

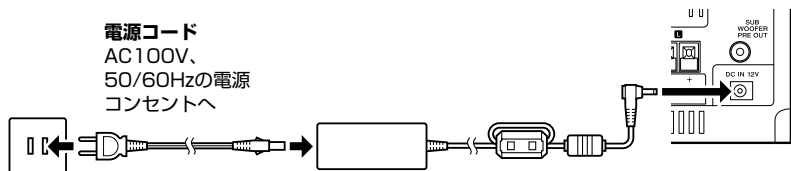
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントへ差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● スピーカーコードは、出荷時に接続されています。

マイコンの誤作動について

本機が正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合はマイコンをリセットしてください。(P.125)

ACアダプターの接続

この製品には、付属のACアダプター「AC-120400A」(JEITA 規格･極性統一形プラグ付き)をご使用ください。

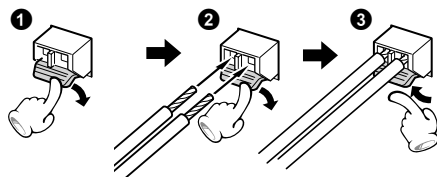
電源コード
AC100V、
50/60Hzの電源
コンセントへ

ACアダプター使用上のご注意

本機の性能を発揮させるために、ACアダプターは本体からなるべく離れた場所に設置してください。

AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、ACアダプター、電源コードからできるだけ離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

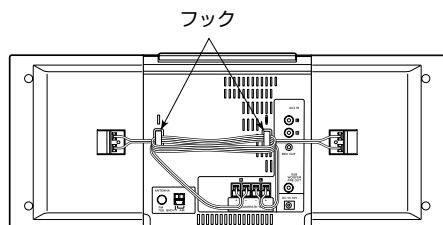
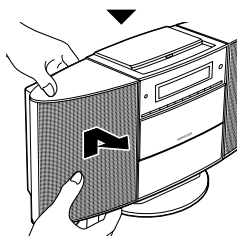
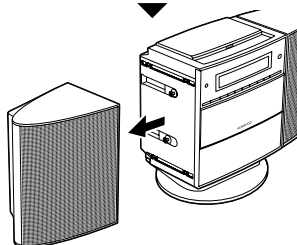
●アンテナコードの取り付け方

AMアンテナコードを右記のようにして、**[AM]**と**[⏚GND]**端子に接続します。

FM室内アンテナの接続

付属のアンテナは室内用の簡易アンテナです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販品)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続する場合には、室内アンテナは取り外してください。

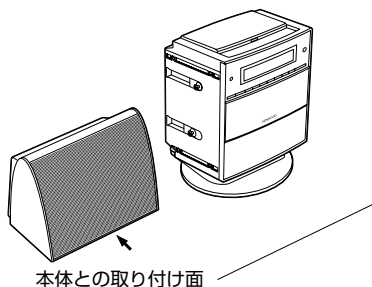
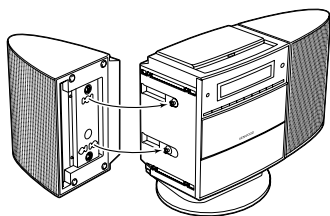
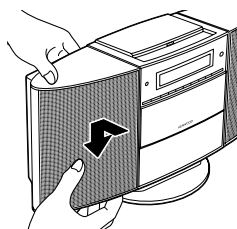
スピーカーの取り外しと取り付け

本体からスピーカーを外して、お好みの場所に設置することができます。
スピーカーの取り外し、取り付け、スピーカーコードの取り替えをするときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。本体にディスクが入っているときは、ディスクを取り出しておいてください。
スピーカーを片方のみ外した状態では不安定になり、振動、衝撃が加わると転倒する場合があります。取り外し、取り付けるときはご注意ください。
取り付けの際にはスピーカーを確実に取り付けてください。取り付けが不安定ですと、落下する恐れがあります。

スピーカーの取り外し

背面に束ねてあるスピーカーコードをフックから外します。

スピーカーを後ろから矢印の方向に押して出します。
スピーカーを落とさないようにご注意ください。

本体からスピーカーを取り外します。

■取り外したスピーカーの設置について

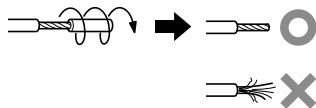
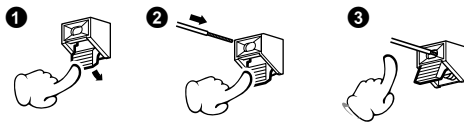
本体との取り付け面を下にしてスピーカーを設置します。本体との取り付け面にはすべり止めが付いています。

- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、スピーカーをテレビやパソコンから少し離して置いてください。

スピーカーの取り付け

本体側の凸部とスピーカー側の取り付け穴が合うように差し込みます。

スピーカーを前から矢印の方向に押して入れます。

スピーカーコードの取り替え

本体からスピーカーを外してご使用になる場合、付属のスピーカーコードが短いときには市販のスピーカーコード〔AWG24 ～ 18（導体部の直径0.511mm ～ 1.024mm）規格〕と取り替えることができます。
市販のスピーカーコードの両端は、あらかじめ約1cm程度ビニール被覆を外し、導線がばらけないようによじってから接続してください。

●スピーカーコード先端の処理のしかた

コード先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。

●スピーカーコードの取り付け方

スピーカーコード接続の注意

スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください（+と－のコードを接触させないでください）。極性＋と－を間違えて接続すると、楽器などの音源位置がはっきりしない不自然な音になります。

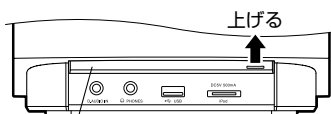
他の機器（市販品）との接続

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

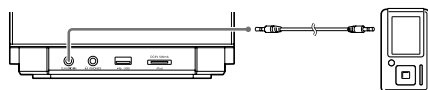
⚠ 屋外アンテナの設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

フロントパネルの開けかた

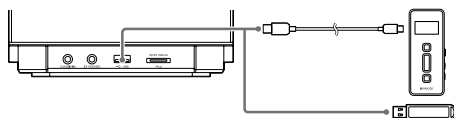
本体前面部のコネクターに他の機器を接続するときは、パネルカバーを上げて、機器を接続してください。

D.AUDIO IN

デジタルオーディオプレーヤーを本体前面部の**[D.AUDIO IN]**端子に接続します。

- デジタルオーディオリンク対応プレーヤー(ケンウッド製）を専用接続ケーブルPNC-150（別売）で接続すると､本機やリモコンを使って操作できます。(P.56) その他のデジタルオーディオプレーヤーは､3.5mmステレオミニプラグケーブル（市販品）を使って接続できます。
- お使いにならないときは、ミニプラグケーブルを本体から抜いてください。

デジタルオーディオプレーヤー

USB

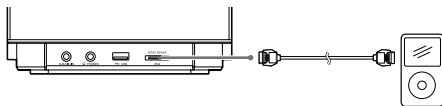
USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを、本体前面部の**[•⇠USB]**端子に接続します。

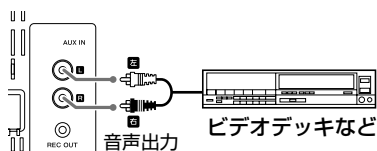
- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。

iPod

iPodを本体前面部の**[iPod]**端子に接続します。

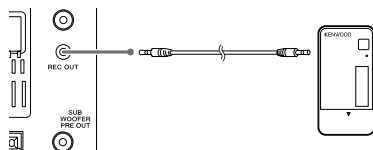
● iPodを接続するには、iPod接続ケーブルPNC-iP120（別売）が必要です。本機やリモコンを使って操作できます。（P.60）

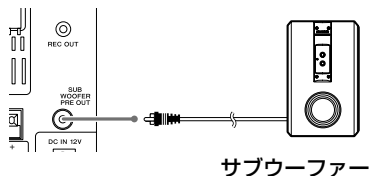
● お使いにならないときは、iPod接続ケーブルを本体から抜いてください。

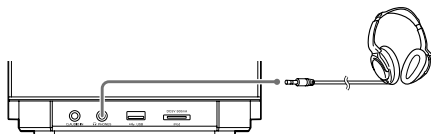
● 使用できるiPodについては、P.29を参照してください。

AUX IN

ビデオデッキなどの音声出力端子を本体背面部の**[AUX IN]**端子に接続します。

REC OUT

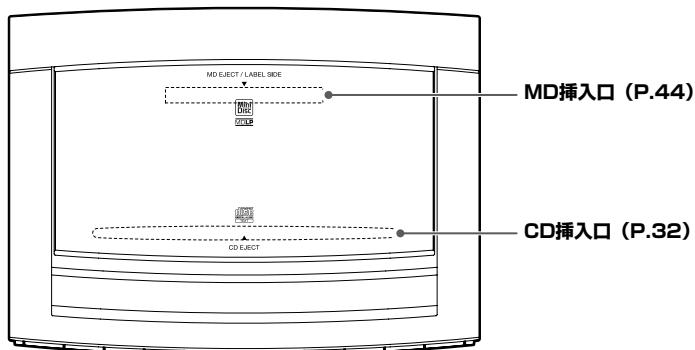
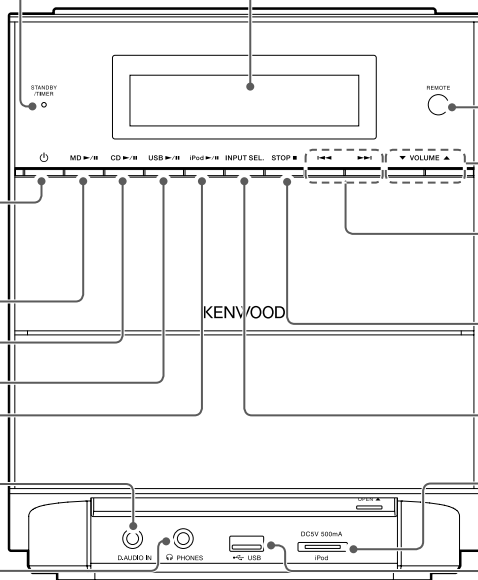
ケンウッド製ダイレクトエンコード機能付きデジタルオーディオプレーヤーを本体背面部の**[REC OUT]**端子に接続します。

● **[REC OUT]**端子からはアナログ音声信号が出力されます。

SUB WOOFER PRE OUT

サブウーファー（SW-40HT（別売）など）を本体背面部の**[SUB WOOFER PRE OUT]**端子に接続します。

PHONES

3.5mmステレオミニプラグつきのヘッドフォンを本体前面部の**[🎧PHONES]**端子に接続します。

各部のなまえと働き

本体部

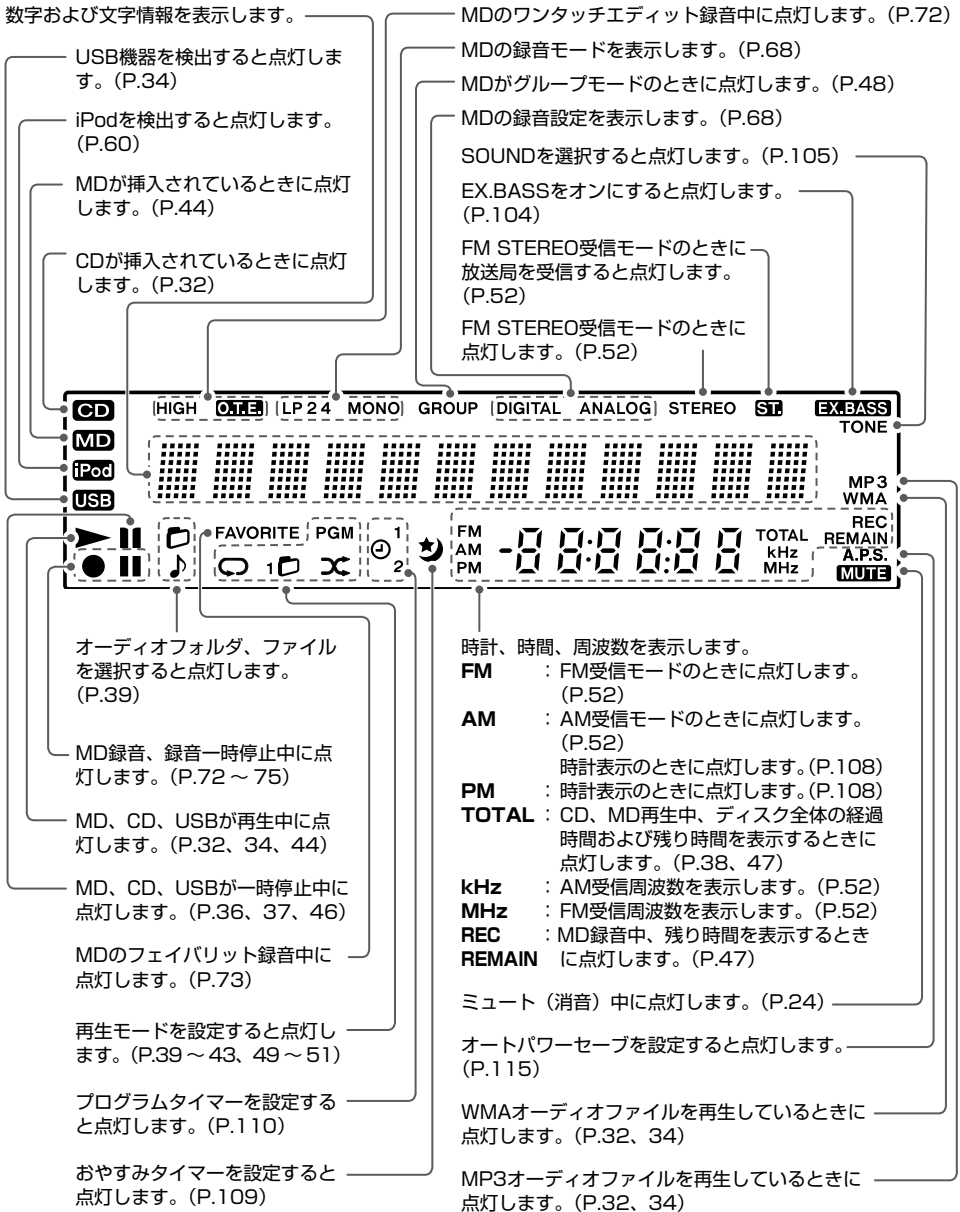
■上面部

■正面部

スタンバイ状態について

本機の**[STANDBY/TIMER]**インジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。またこの状態のとき、リモコンで本機の電源をオンにできます。

ワンタッチオペレーション機能について

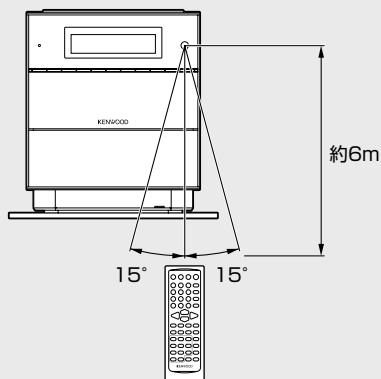
本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、**[MD►/II]**、**[CD►/II]**、**[USB►/II]**、**[iPod►/II]**、**[TUNER/AUX]**（リモコンのみ）または**[D.AUDIO►/II]**（リモコンのみ）キーを押すと本機の電源がオンになります。ディスクが入っているときは再生が始まります。

ディスプレイ部

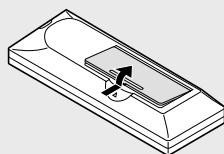
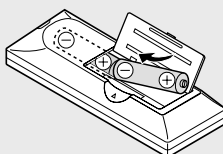
本文中のディスプレイ表示は、
実際の表示と異なる場合もあります。

リモコン部

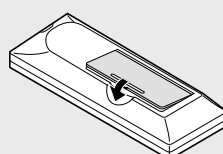
本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源[⏻]キーを押すと、電源がオンになります。
電源がオンになったら、操作したいキーを押します。
リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

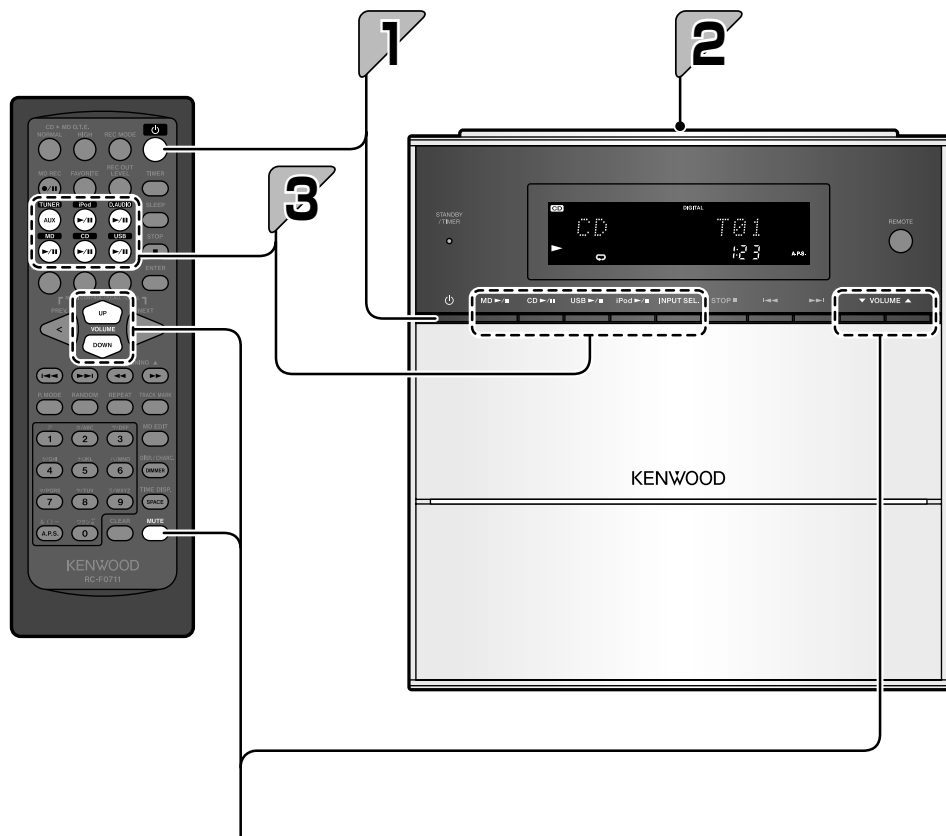
リモコンの電池の入れ方

① 電池カバーを外します。

② 付属の単3形乾電池を入れます。

● 電池の極性（⊕⊖）に注意して入れてください。

③ 電池カバーを閉じます。

● 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。

● 電池を交換するときは、2本とも新しい乾電池と交換してください。

基本的な使い方

ここでは本機の基本的な共通の操作と、再生方法について説明します。

■音量を調整する

▼ VOLUME ▲

音量を下げる　音量を上げる

UP 音量を上げる

VOLUME

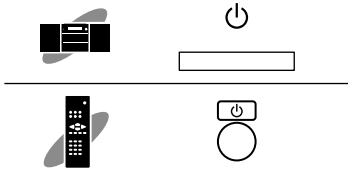
DOWN 音量を下げる

■一時的に消音する（ミュート）

MUTE

● ミュートを解除するにはもう一度押します。

● 接続を確認してください。(P.14 ～ 19)
● リモコンを準備してください。(P.23)
● USB機器、デジタルオーディオプレーヤー、iPod、外部機器を使用する場合は、あらかじめ本機に接続してください。(P.18、19)

1 電源をオンにする

● **[MD►/❚❚]**、**[CD►/❚❚]**、**[USB►/❚❚]**、**[iPod►/❚❚]**、**[INPUT SEL.]**(本体のみ)、**[TUNER/AUX]**(リモコンのみ)、**[D.AUDIO►/❚❚]**(リモコンのみ)キーを押しても、電源がオンになります。

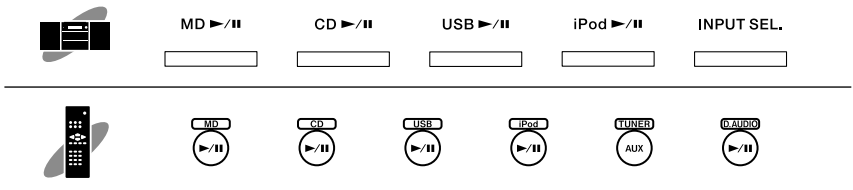
● 電源がオンのときに電源[⏻]キーを押すとオフ(スタンバイ状態)になります。

2 ディスクを入れる(CDまたはMDの場合)

CDやMD以外を再生するときは手順3に進んでください。

● CDの入れかたはP.32をご覧ください。
● MDの入れかたはP.44をご覧ください。

3 再生する

各音源の再生/一時停止キーを押します。詳しくは「音源別操作編」(P.31 ～ 66)をご覧ください。外部機器の場合は、外部機器を操作して再生してください。

● お好みの音質を設定することができます。詳しくは、「音質設定編」(P.103 ～ 105)をご覧ください。

● 本機を一定時間操作しない状態が続くと、ディスプレイがスクロール表示され、ディスプレイの文字の焼きつきや、輝度ムラを防ぎます。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア		本書でのマーク	説　明
USB	USBフラッシュメモリ USBマスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー	USB	● [•⊸USB]端子には、USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。使用可能なUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの情報は当社ホームページをご覧ください。 http://www.kenwood.co.jp/faq/
C D	市販の音楽CD CD-DAのフォーマットで記録したCD-R/CD-RW MP3/WMAを記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW		● コピーコントロール付きCDなど、CDの規格に準拠していないディスクは再生できない場合があります。 ● 書き込み時にファイナライズ処理をする必要があります。 ● 本書ではMP3, WMAファイルをまとめて「オーディオファイル」と呼びます。 ● CD-ROM、CD-R、CD-RWディスクを記録した機器や記録状態、また使用しているCD-ROM、CD-R、CD-RWの種類によっては本機で再生できない場合があります。
M D			● 本機はHi MDに対応しておりません。 ● MD-Clipデータ（静止画など）を書き込んだディスクは、本機で録音、編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。 ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

ディスクに書き込むときのご注意

● パケットライト方式やUDF（Universal Disc Format）方式で記録されたディスクは再生できません。

● ディスク書き込み時は、必ずセッションクローズまたはファイナライズしてください。セッションクローズまたはファイナライズしていないディスクは、正しく再生できない場合があります。

● 書き込みソフトの仕様によっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。

● マルチセッションディスクや、フォルダを多く含んでいるディスクを再生する場合、再生が始まるまで通常のディスクより時間がかかることがあります。

● 同一のディスクに、オーディオファイルと音楽CD（CD-DAフォーマット）を書き込むと正しく再生できません。

● オーディオファイルをディスクに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、ファイルが正しく再生されることを確認してください。
書き込みが終わったら、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。

● オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子(mp3, wma)を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3, wma）を付けないでください。拡張子については、右記の「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。

再生できるオーディオファイル

本機は以下のオーディオファイル（MP3、WMA）が記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、USB機器を再生できます。

MP3ファイル

ファイルフォーマット：MPEG 1 Audio Layer 3/ MPEG 2 Audio Layer 3/ MPEG 2 Audio Layer 3 Lower sampling rate (MPEG2.5)
拡張子：.mp3
サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz
ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps

WMAファイル

ファイルフォーマット：
Windows Media™ Audio準拠
拡張子：.wma
サンプリング周波数：32 kHz ～ 48 kHz
ビットレート：64 kbps ～ 192 kbps

● Windows Media™ Player 9以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
- WMA Professional
- WMA Lossless
- WMA Voice

ディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1
ISO 9660 Level 2
Joliet
Romeo

USB対応ファイルシステム

FAT16
FAT32

ファイル数制限

最大ファイル/フォルダ数：合計65280
最大フォルダ数：255
1フォルダ内のファイル数：256

表示できる最大文字数

ファイル名：32文字（拡張子含む）
フォルダ名：32文字
タグ表示（Title/Album/Artist）：30文字

● 本機が表示できる文字種は、カタカナと英数字です。表示できない文字は“#”と表示されます。

その他の注意事項

● 前記の規格に準拠したオーディオファイルでも、ディスクの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。
● エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
● DRM（デジタル著作権管理）付きファイルは、再生できません。
● VBR（Variable Bit Rate；可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。

Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

録音できる音源、録音できない音源

録音先 / 録音元	MDに録音	[REC OUT]端子に接続したデジタルオーディオプレーヤー
AUX	○	○
USB	○	○
CD	◎、○	○
MD	ー	○
FM/AM	○	○
D.AUDIO	○	○
iPod	○	○

◎：デジタル録音に対応しています。○：アナログ録音となり、録音速度も定速に限ります。

ディスクの取り扱い

取り扱い上のお願い

● 再生面に触れないように持ってください。

本機で使用できるディスクについて

● CD（12cm、8cm）、CD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

● 8cm CDアダプターは使用できません。

CD-ROM/CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-ROM、CD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

CDディスクのご注意

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったディスクをご使用ください。

このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

USB機器の取り扱い

取り扱い上のお願い

● 必ず各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

● 本機にUSB機器は付属していません。別途、市販品を購入してください。

● 本体前面部の[•⊷USB]端子はUSB2.0（Full speed）対応です。

● USBハブを介してUSB機器を使用することはできません。

● USB機器の使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害については、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

● USBマスストレージクラス対応であること。
使用するUSB機器がUSBマスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。

● 最大消費電流が「500mA」以下であること。
上記以外のUSB機器を使用すると、曲ファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によっては正常に再生できない場合があります。

● 本機はUSB機器に電源を供給し、音楽を再生しながら充電ができます。ただし、本機の電源がオンになっていて、音源がUSBになっている必要があります。

iPodの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずiPodに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にiPodは付属していません。別途、アップル社製のiPodを購入してください。
- iPodの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害については、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

使用できるiPodについて

- 本機にiPodを接続するには、iPod接続ケーブルPNC-iP120（別売）が必要です。
- 本機に接続できるiPodは以下の通りです。（2007年11月現在）

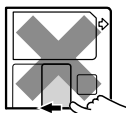
コントロール可能 iPod	
iPod 第4世代（クリックホイール）	20GB/40GB
iPod mini	4GB/6GB
iPod 第4世代（カラーディスプレイ）	20GB/30GB/40GB/60GB
iPod nano 第1世代	1GB/2GB/4GB
iPod nano 第2世代	2GB/4GB/8GB
iPod video (iPod 第5世代)	30GB/60GB/80GB
iPod nano 第3世代（video) *	4GB/8GB
iPod classic*	

* 一部の機能に制限があります。
iPodのソフトウェアバージョンの情報は、当社ホームページをご覧ください。
http://www.kenwood.co.jp/faq

- 本機はiPodに電源を供給し、音楽を再生しながら充電ができます。ただし、本機の電源がオンになっていて、音源がiPodになっている必要があります。

MDの取り扱い

取り扱い上のお願い

MDのシャッターは、開かないようにロックされています。無理に開けようとするとMDがこわれます。

再生について

MDは△などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因になります。

デジタル録音とSCMSについて

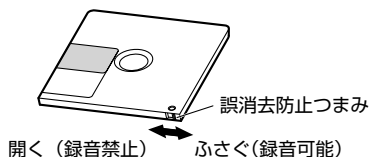
SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

HCMSについて

HCMS(ハイスピードコピーマネージメントシステム)とは、CDからMDへの高速録音によって、曲が大量に複製されるのを防ぐためのコピー防止技術です。高速録音を行った曲を一定時間以内に再び高速録音することはできません。

大切な録音を消さないために

■ 誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。
再び録音するときは、つまみを元の状態に戻します。

著作権について

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先：
社団法人私的録音補償金管理協会（sarah）

東京都千代田区麹町1-8-14麹町YKビル2F
電話（03）3261-3444

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行ってください。

① iPodやUSBフラッシュメモリ、USBオーディオプレーヤーを取り外します。CD、MDを取り出します。

② **[CD►/II]**または**[MD►/II]**キーを押し、“NO DISC”がディスプレイに表示されるのを確認します。

③ 数秒間待ち、電源をオフにします。

④ その他外部機器が接続されている場合は、電源がオフになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

本機を移動するときは、必ず本体部を持ってください。スピーカー部を持つと、本体部が落下する場合があります。

音源別操作編

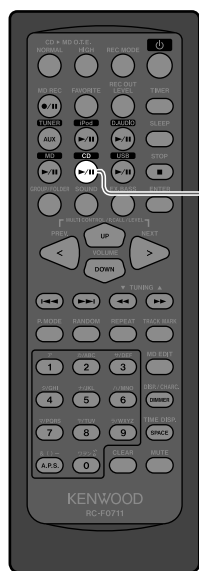
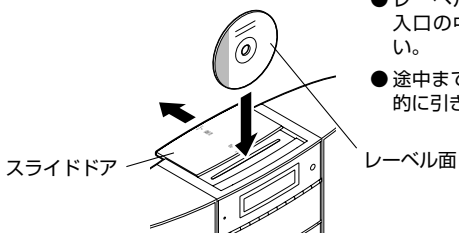
音源別に操作方法を説明します。
録音やMDの編集については、「録音・編集編」(P.67)をご覧ください。
音源にかかわらない音質の設定や機器の設定については、「音質設定編」(P.103)「機器設定編」(P.107)をご覧ください。
エラーが表示されたり、困ったことが起きた場合には、「保守編」(P.117)をご覧ください。

CD

CD を再生します。市販の音楽 CD 以外にも、MP3 と WMA のオーディオファイルを記録したディスクも再生できます。詳しくは「本機で使えるメディア」（P.26）をご覧ください。

CDを再生する

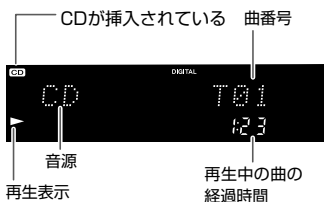
CD をセットして再生します。

● あらかじめディスクが入っている場合は、**[CD►/II]**キーを押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。

1 スライドドアを奥にスライドして、CDを入れる

● レーベル面を手前にして挿入口の中央に入れてください。

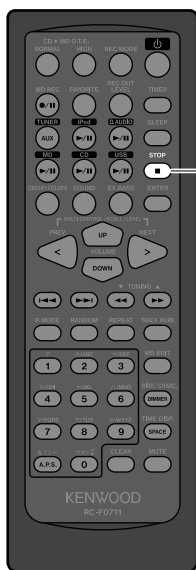
● 途中までCDを入れると自動的に引き込まれます。

2 スライドドアを手前にスライドして閉じる

● スライドドアを閉じないとCDを再生できません。

3 [CD►/II]キーを押す

● 以下のようなディスクを再生すると、トラック番号が正しく表示されないことがあります。
- Mixモード*で記録されたディスク
- マルチセッションで記録されたディスク
- CD-DAのフォーマットと音楽データではないフォーマットが混在して記録されたディスク

* MixモードとはCD-DAのフォーマットとMP3/WMAなどのオーディオファイルが混在するモードのことです。

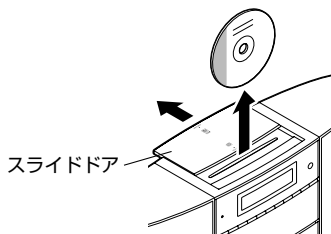
- 本体で使えるメディア→P.26
- 音質設定→P.103 ～
- 曲をプログラム再生する→P.41

- CD挿入時の注意
  - スタンバイ状態のときは、CDの挿入はできません。
  - スタンバイ状態のときに、無理にCDを挿入しないでください。故障の原因となります。
  - CDが挿入できないときは、CDを引き出し、入れ直してください。
  - 再生面には触れないでください。
  - 8cm CDアダプターは使用できません。
  - 8cm CDの場合、CD挿入口の中央からずれているとCDが引き込まれません。ご注意ください。
  - すでにCDが挿入されているときは、スライドドアを開けるとCDが出てきます。

CDを取り出す

[■]キーを押して再生を停止する

スライドドアを奥にスライドし、CDを取り出す

スライドドアをスライドするとCDが出てきます。

- CDが再生中でも、スライドドアを奥にスライドすると、再生を停止してCDが出てきます。

スライドドアを手前にスライドして閉じる

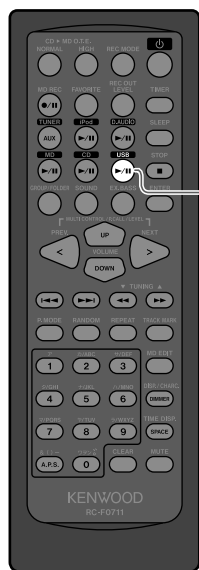
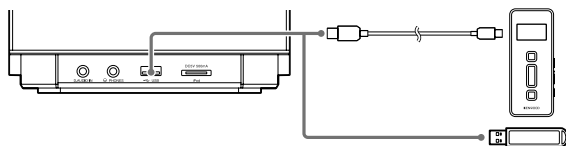
- スタンバイ状態のときは、CDの取り出しはできません。
- CDを取り出すと、プログラム再生の設定内容は消去されます。(P.41)

USB

USB フラッシュメモリや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを USB 接続して、内部の MP3 と WMA のオーディオファイルを再生します。

USB機器を再生する

USB フラッシュメモリや USB マスストレージクラスに対応したデジタルオーディオプレイヤーの MP3 と WMA のオーディオファイルを再生します。

● 接続するUSB機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本体前面部の[•⇠USB]端子にUSBフラッシュメモリまたは、USBオーディオプレーヤーのUSBケーブルを接続する

● 本機にUSB機器を取り付けるときは、本機とUSB機器の電源をオフにしてください。

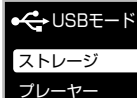
[USB►/II]キーを押す

機器の中のMP3とWMAオーディオファイルを検索し、再生を始めます。

● 複数のフォルダやオーディオファイルがある場合の再生の順番については、P.40をご覧ください。

● 機器に再生可能なMP3とWMAオーディオファイルがないときは、再生は始まりません。

● 接続されている機器や記録されているファイル数などによって、読み込みに時間がかかる場合があります。

● ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーでは、USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。"ストレージモード"を選び、再度**[USB►/II]**キーを押してください。

● 再生中はUSB機器を外さないでください。故障の原因となります。

● USB機器のコネクターに手を触れないでください。故障の原因となります。

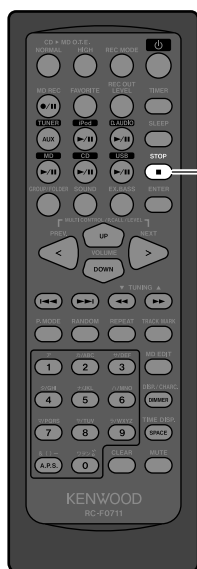
● 他の機器（市販品）との接続→P.18
● 本機で使えるメディア→P.26
● USB機器の取り扱い→P.28
● 音質設定→P.103 ～
● 曲をプログラム再生する→P.41

USB機器を取り外す

1 [■]キーを押して再生を停止する

2 再度[■]キーを押す

3 ディスプレイに“REMOVE OK”と表示されたら、USB機器を取り外す

REMOVE OK

● USB機器を取り外すと、プログラム再生の設定内容は消去されます。（P.41）

CD/USBのいろいろな再生

通常の再生のほか、フォルダ再生、プログラム再生、ランダム再生、リピート再生ができます。

再生中の操作

■CD再生中の操作

一時停止と再開

[CD►/❚❚]キーを押す。

停止する

[■]キーを押す。

前のフォルダ / 次のフォルダの曲を再生する（フォルダ再生モード中）

前のフォルダへは**[PREV.]**キーを押す。
次のフォルダへは**[NEXT]**キーを押す。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

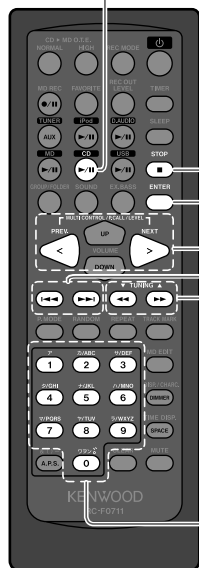
前の曲または次の曲に飛ばす：**[❙◄◄]**または**[►►❙]**キーを押す。
前の曲へ戻る：**[❙◄◄]**キーを連続して2回以上押す。
曲の初めに戻る：**[❙◄◄]**キーを1回押す。

早送り / 早戻しをする

[◄◄]または**[►►]**キーを押し続ける。

曲番号を指定する

5曲目のときは**[5]**、**[ENTER]**キーを押す。
17曲目のときは**[1]**、**[7]**、**[ENTER]**キーを押す。

関連情報

● 音質設定→P.103 ～
● フォルダ再生モードにする→P.39

■USB再生中の操作

一時停止と再開

[USB►/II]キーを押す。

停止する

[■]キーを押す。

前のフォルダ / 次のフォルダの曲を再生する（フォルダ再生モード中）

前のフォルダへは**[PREV.]**キーを押す。
次のフォルダへは**[NEXT]**キーを押す。

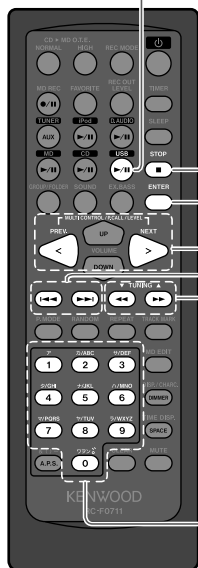
曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

前の曲または次の曲に飛ばす：**[I◄◄]**または**[►►I]**キーを押す。
前の曲へ戻る：**[I◄◄]**キーを連続して2回以上押す。
曲の初めに戻る：**[I◄◄]**キーを1回押す。

早送り / 早戻しをする

[◄◄]または**[►►]**キーを押し続ける。

曲番号を指定する

5曲目のときは**[5]**、**[ENTER]**キーを押す。
17曲目のときは**[1]**、**[7]**、**[ENTER]**キーを押す。

表示を切り換える

タイトル表示やTAG情報の表示を切り換える

音楽CD（CD-TEXT対応）

[DISP./CHARC.]キーを押すたびに、ディスプレイ表示が次のように切り換わります。

MP3/WMA

オーディオファイルには、曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名などのTAG情報が記録されています。

[DISP./CHARC.]キーを押すたびにディスプレイの表示が次のように切り換わります。

- タイトルやTAG情報がない場合は、次の表示に切り換わります。
- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、TAG情報が正しく表示できない場合があります。
- 表示できない文字は“#”と表示されます。
- 時刻を設定していない場合は、次の表示に切り換わります。

時間表示を切り換える

音楽CD

[TIME DISP.]キーを押すたびにディスプレイの表示が次のように切り換わります。

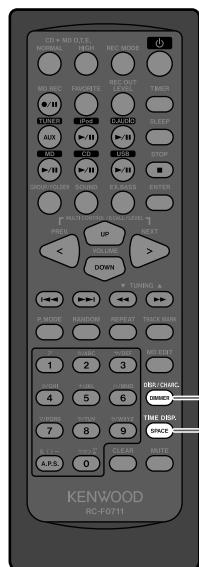
CDトラック再生/プログラム再生のとき

ランダム再生/リピート再生のとき

1曲の経過時間 ⟷ 1曲の残り時間

- 400分を超えた場合は“－－:－－”と表示されます。

MP3/WMA

1曲の経過時間のみ表示します。

関連情報
- 再生できるオーディオファイル→P.27
- 曲をプログラム再生する→P.41
- 曲をランダム再生する→P.43
- 曲をリピート再生する→P.43

- 音質設定→P.103～
- 時刻設定→P.108

フォルダ再生モードにする

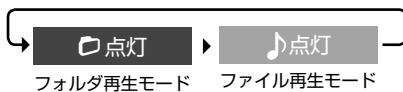
MP3/WMA

選択したフォルダ内のファイルだけを再生します。

1 [■]キーを押して再生を停止する

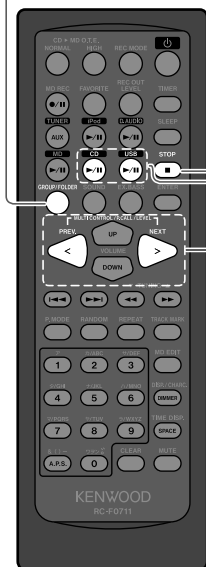
2 [GROUP/FOLDER]キーを押してフォルダ再生モードを選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

フォルダ再生モード　ファイル再生モード

3 [PREV.]または[NEXT]キーを押して再生したいフォルダを選ぶ

CD F08 T013

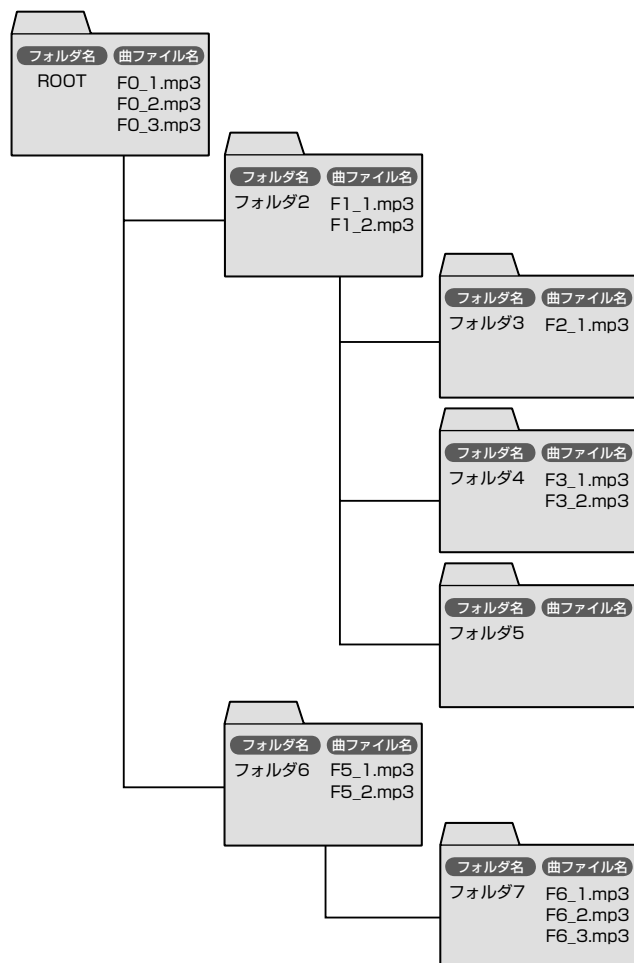
フォルダ番号8を選んだ場合

4 [CD►/II]または[USB►/II]キーを押して再生する

■フォルダや曲ファイルの再生順について

MP3/WMA

オーディオファイルが記録された CD または USB 機器を再生すると、曲ファイルは図のように、ROOT フォルダのファイルから順に再生します。

フォルダ構成例

フォルダ名	曲ファイル名
ROOT	F0_1.mp3 F0_2.mp3 F0_3.mp3
フォルダ2	F1_1.mp3 F1_2.mp3
フォルダ3	F2_1.mp3
フォルダ4	F3_1.mp3 F3_2.mp3
フォルダ5	
フォルダ6	F5_1.mp3 F5_2.mp3
フォルダ7	F6_1.mp3 F6_2.mp3 F6_3.mp3

■曲ファイル再生順

1曲目 .....F0_1.mp3
2曲目 .....F0_2.mp3
3曲目 .....F0_3.mp3
4曲目 .....F1_1.mp3
5曲目 .....F1_2.mp3
6曲目 .....F2_1.mp3
7曲目 .....F3_1.mp3
8曲目 .....F3_2.mp3
9曲目 .....F5_1.mp3
10曲目 .....F5_2.mp3
11曲目 .....F6_1.mp3
12曲目 .....F6_2.mp3
13曲目 .....F6_3.mp3

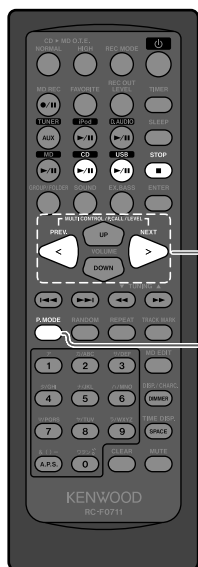
- ファイルのないフォルダが記録されている場合は、そのフォルダは選択できません。
- ファイル名の頭に“01”から“99”などの番号を付けてからディスクに記録すると、再生する順番を設定することができます。

● 再生できるオーディオファイル→P.27
● 曲をランダム再生する→P.43
● 曲をリピート再生する→P.43
● 音質設定→P.103 ～

曲をプログラム再生する

曲をお好きな順番で聞くことができます (最大 32 曲)。

● 再生中の場合は、[■]キーを押して再生を停止します。

● フォルダ再生モードの場合は、選択しているフォルダ内の曲を登録します。

ファイル再生モード

[P.MODE]キーを押してプログラム登録モードを選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

プログラム
登録モード

プログラム
登録モード解除

フォルダ再生モード（MP3/WMA）

❶ プログラム再生したいフォルダを選ぶ

[PREV.]または**[NEXT]**キーで選ぶ

フォルダ番号8を選んだ場合

❷ [P.MODE]キーを押してプログラム再生モードを選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

プログラム
登録モード

プログラム
登録モード解除

数字キーまたは[I◄◄]/[►►I]キーを押して聞きたい曲またはファイルを選ぶ

プログラム番号　トラック番号

トラック番号10をプログラムの1曲目に選んだとき

[ENTER]キーを押す

● プログラムした曲またはファイルを間違えた場合は、**[ENTER]**キーを押した後に**[CLEAR]**キーを押します。その後もう一度、手順2からの操作をしてください。

2曲以上選ぶときは手順2から3を繰り返す

● 32曲まで選ぶことができます。さらに選ぼうとすると“PGM FULL”と表示されます。

[CD►/II]または[USB►/II]キーを押して再生する

“PGM”が点灯します。

■プログラムモードを解除するには

再生を停止し、**[CLEAR]**キーを押す。
設定したプログラムは消去されます。

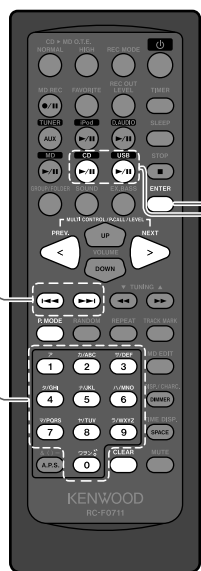
■プログラムした曲を取り消すには

● 再生を停止し、その後**[P.MODE]**キーを押す。
● その後**[CLEAR]**キーを押すたびに、プログラムした最後の曲から１曲ずつ消去されます。
[<]または**[>]**キーを押すと、プログラム番号が選べます。消去したいトラック番号を表示して、**[CLEAR]**キーを押します。

■曲を後から追加するには

再生している場合は停止してから、手順1から5の操作をする。

■プログラムした曲を確認するには

再生を停止し、**[I◄◄]** または **[►►I]** キーを押す。

● 電源をオフにしたり、CDを取り出したり、USB機器を取り外すと、設定したプログラム内容は消去されます。

関連情報
● フォルダ再生モードにする→P.39
● 曲をプログラム再生する→P.41
● 音質設定→P.103 ～

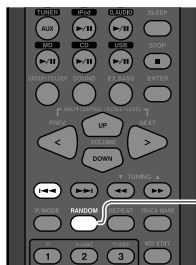
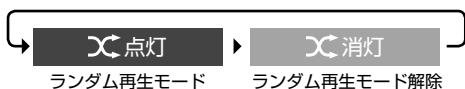
曲をランダム再生する

再生中の CD 内、またはフォルダ内の曲を順不同で再生します。

● “PGM”が点灯しているときは、停止中に**[CLEAR]**キーを押して消灯させてください。

1 [RANDOM]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。

ランダム再生モード　ランダム再生モード解除

● フォルダ再生モードのときは、フォルダ内の曲をランダム再生します。

● [I◄◄]キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

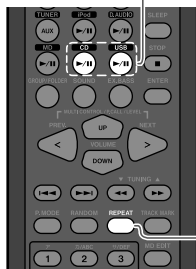
曲をリピート再生する

1 曲または全曲を繰り返し再生します。

1 [CD►/II]または[USB►/II]キーを押して繰り返したい曲を再生する

2 [REPEAT]キーを押してリピート再生する

押すたびに次のように切り換わります。

1曲リピート再生　全曲リピート再生　リピート再生を解除

● フォルダ再生モードのときは、フォルダ内の曲をリピート再生します。

● プログラム再生モードのときは、プログラムした曲でリピート再生します。

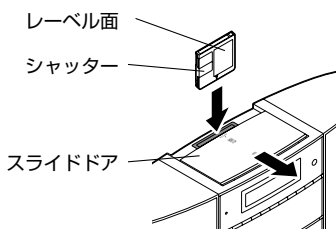
MD

MD を再生します。ランダム再生、リピート再生のほか、好きな曲を好きな順番で聞くプログラム再生ができます。

MDを再生する

MD をセットして再生します。

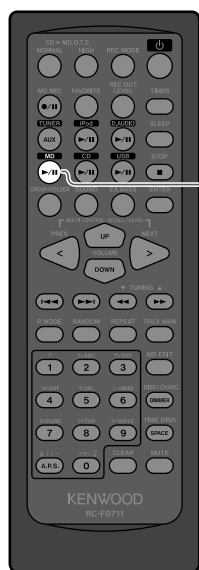
● あらかじめディスクが入っている場合は、**[MD►/II]**キーを押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。

スライドドアを手前にスライドして、MDを入れる

● レーベル面を手前に、矢印にしたがって入れてください。

● 途中までMDを入れると自動的に引き込まれます。

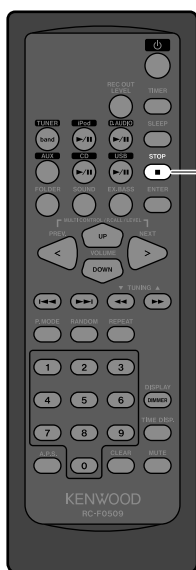
スライドドアを奥にスライドして閉じる

● スライドドアを閉じないとMDが再生できません。

[MD►/II]キーを押す

● MDの曲は録音したときの録音モードにしたがって再生されます。録音モードについては、「MD録音」をご覧ください。（P.68 ～ 69）

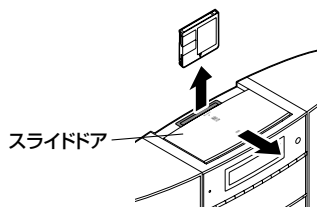
● グループモードにする→P.48
● 曲をプログラム再生する→P.49
● 音質設定→P.103 ～
● MD録音→P.68 ～

● MD挿入時の注意
- スタンバイ状態のときは、MDの挿入はできません。
- スタンバイ状態のときに、無理にMDを挿入しないでください。故障の原因となります。
- MDが挿入できないときは、MDを引き出し、入れ直してください。
- すでにMDが挿入されているときは、スライドドアを開けるとMDが出てきます。

MDを取り出す

[■]キーを押して再生を停止する

スライドドアを手前にスライドし、MDを取り出す

スライドドアをスライドするとMDが出てきます。

● MDが再生中でも、スライドドアを手前にスライドすると、再生を停止してMDが出てきます。

スライドドアを奥にスライドして閉じる

● スタンバイ状態のときは、MDの取り出しはできません。

● MDを取り出すと、プログラム再生の設定内容は消去されます。（P.49）

■MD再生中の操作

一時停止と再開

[MD►/II]キーを押す。

停止する

[■]キーを押す。

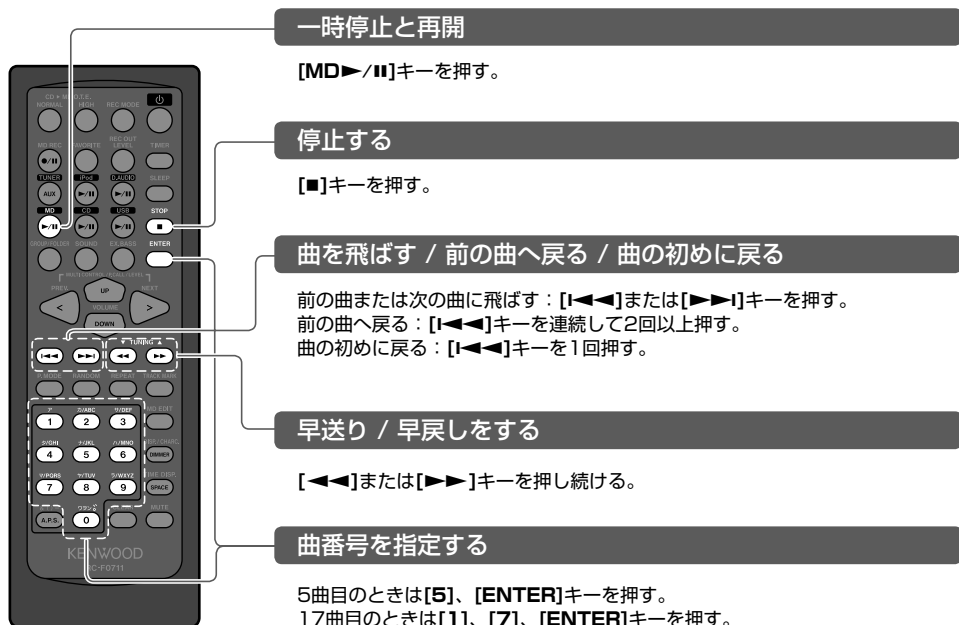
曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

前の曲または次の曲に飛ばす：**[I◄◄]**または**[►►I]**キーを押す。
前の曲へ戻る：**[I◄◄]**キーを連続して2回以上押す。
曲の初めに戻る：**[I◄◄]**キーを1回押す。

早送り / 早戻しをする

[◄◄]または**[►►]**キーを押し続ける。

曲番号を指定する

5曲目のときは**[5]**、**[ENTER]**キーを押す。
17曲目のときは**[1]**、**[7]**、**[ENTER]**キーを押す。

関連情報
● グループモードにする→P.48
● 曲をプログラム再生する→P.49
● 曲をランダム再生する→P.51
● 曲をリピート再生する→P.51
● 音質設定→P.103～
● MD録音→P.68～
● MD編集→P.76～
● 時刻設定→P.108

表示を切り換える

タイトル表示を切り換える

MDには、曲名、ディスク名、グループ名などのタイトル情報を記録することができます。
[DISP./CHARC.]キーを押すたびにディスプレイの表示が次のように切り換わります。

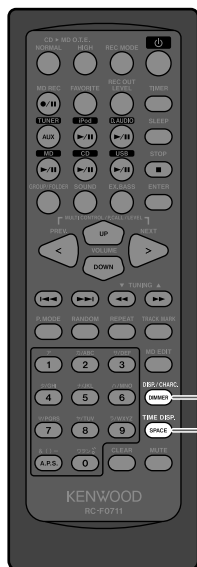
- タイトルが記録されていないディスクは、“NO TITLE”と5秒間表示します。
- 表示できない文字は“#”と表示されます。
- 時刻を設定していない場合は、次の表示に切り換わります。

時間表示を切り換える

[TIME DISP.]キーを押すたびにディスプレイの表示が次のように切り換わります。

MDトラック再生/プログラム再生のとき

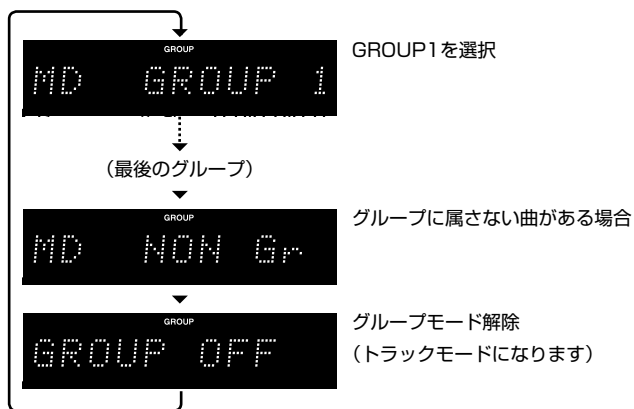
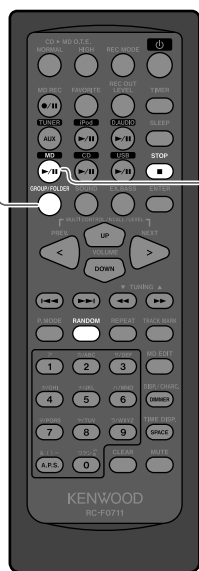
ランダム再生/リピート再生のとき

- 400分を超えた場合は“−−:−−”と表示されます。

グループモードにする

グループモードで選択した曲を再生します。

● 再生中の場合は、**[■]**キーを押して再生を停止します。

1 [GROUP/FOLDER]キーを押して再生したいグループを選ぶ

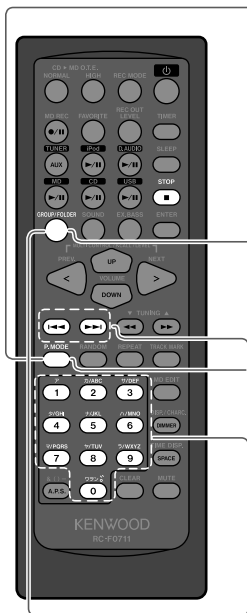
押すたびにグループが切り換わります。

2 [MD►/II]キーを押して再生する

● ディスプレイに“⤨”が点灯している場合は、**[RANDOM]**キーを押してランダム再生モードを解除します。

関連情報
- MD編集→P.76 ～
- 音質設定→P.103 ～

曲をプログラム再生する

曲をお好きな順番で聞くことができます。（最大 32 曲）（トラックモード）
グループをお好きな順番で聞くことができます。(最大 10 グループ)(グループモード)

● 再生中の場合は、[■]キーを押して再生を停止します。

1 トラックプログラムモード

[P.MODE]キーを押してプログラム登録モードを選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

PGM 点滅 ▶ PGM 消灯

プログラム登録モード / プログラム登録モード解除

グループプログラムモード

❶ [GROUP/FOLDER]キーを押して“GROUP”を表示させる

❷ [P.MODE]キーを押してプログラム登録モードを選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

プログラム登録モード / プログラム登録モード解除

2 トラックプログラムモード

数字キーまたは[I◄◄]/[►►I]キーを押して聞きたい曲を選ぶ

プログラム番号　トラック番号

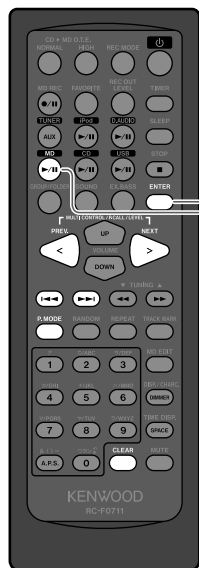
トラック番号10をプログラムの1曲目に選んだとき

グループプログラムモード

[GROUP/FOLDER]キーを押して聞きたいグループを選ぶ

プログラム番号　グループ番号

グループ番号2をプログラムの1番目に選んだとき

次ページに続く

3 [ENTER]キーを押す

● プログラムしたい曲を間違えた場合は、**[ENTER]**キーを押した後に**[CLEAR]**キーを押します。その後もう一度、手順2からの操作をしてください。

4

トラックプログラムモード

2曲以上選ぶときは手順2と3を繰り返す

● 32曲まで選ぶことができます。さらに選ぼうとすると“PGM FULL”と表示されます。

グループプログラムモード

2グループ以上選ぶときは手順2と3を繰り返す

● 10グループまで選ぶことができます。さらに選ぼうとすると“PGM FULL”と表示されます。

5 [MD►/II]キーを押して再生する

■プログラムモードを解除するには

再生を停止し、**[CLEAR]**キーを押す。
設定したプログラムは消去されます。

■プログラムを取り消すには

● 再生を停止し、その後**[P.MODE]**キーを押す。
● **[CLEAR]**キーを押すたびに、最後のプログラムから1つずつ消去されます。
[<]または**[>]**キーを押すと、プログラム番号が選べます。消去したい番号を表示して、**[CLEAR]**キーを押します。

■プログラムを後から追加するには

再生している場合は停止してから、手順2から5の操作をする。

■プログラムを確認するには

トラックプログラムモード

再生を停止し、**[I◄◄]** または **[►►I]** キーを押す。

グループプログラムモード

再生を停止し、**[GROUP/FOLDER]** キーを押す。

● 電源をオフにしたり、プログラム再生を設定したMDを取り出すと、設定したプログラム内容は消去されます。

● グループモードにする→P.48
● 曲をプログラム再生する→P.49
● 音質設定→P.103～

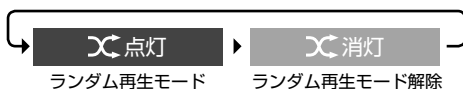
曲をランダム再生する

再生中の曲を順不同で再生します。

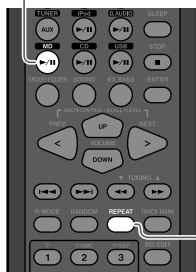
● "PGM"が点灯しているときは、停止中に**[CLEAR]**キーを押して消灯させてください。

1 [RANDOM]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。

ランダム再生モード　ランダム再生モード解除

● グループモードのときは、グループ内の曲をランダム再生します。
グループ内のランダム再生がひと通り終わると、次のグループ内をランダム再生します。最後のグループ内をランダム再生が終わると停止します。
● [I◄◄]キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

曲をリピート再生する

曲を繰り返し再生します。

1 [MD►/II]キーを押して繰り返したい曲を再生する

2 [REPEAT]キーを押してリピート再生する

押すたびに次のように切り換わります。

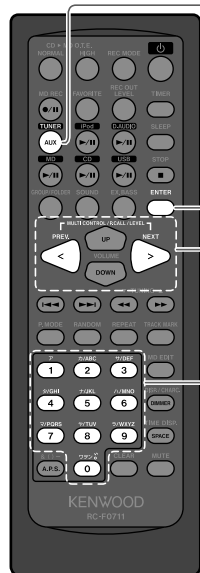
1曲リピート再生　全曲リピート再生　リピート再生を解除

● プログラム再生モードのときは、プログラムした曲でリピート再生します。

FM/AMラジオ

FM/AM ラジオを聞いたり、放送局をセットします。

FM/AMラジオを聞く

● **[TUNER/AUX]**キーを押すだけで電源がオンになり、ラジオを聞くことができます。

1 受信モードを選ぶ

[TUNER/AUX]キーを押す

[INPUT SEL.]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。

FM（ステレオ） ▶ FM（モノラル） ▶ AM ▶ （D.AUDIO） ▶ AUX ▶ FM（ステレオ）

本体で操作した場合

● FM（ステレオ）受信モードのときにステレオ受信すると、“ST.”が点灯します。

2 放送局を選ぶ

記憶されている放送局から選ぶ場合（プリセットコール）

記憶させてある放送局を選びます。

● あらかじめ放送局を記憶させてください。(P.54)

■[P.CALL]キーで選ぶ場合

[<]または**[>]**キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

[<]または**[>]**キーを押し続けると､記憶されている放送局を5秒ずつ受信しながら順に切り換わります。

■数字キーで選ぶ場合

P17なら**[1]**、**[7]**、**[ENTER]**キーを押す。
P23なら**[2]**、**[3]**、**[ENTER]**キーを押す。

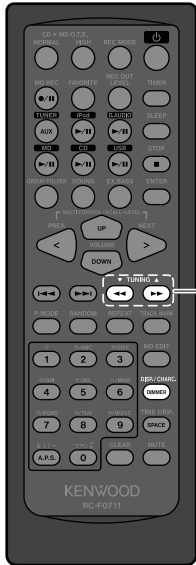
●放送局を記憶させる→P.54
●音質設定→P.103 ～
●時刻設定→P.108

記憶されていない放送局を選ぶ場合（オート選局/マニュアル選局）

■オート選局をする場合は

[TUNING◄◄/►►]キーを1秒以上押し続けると、次の放送局を自動で受信します。お好みの放送局を受信するまで、操作を繰り返してください。

■マニュアル選局をする場合は

受信するまで、または受信したい周波数になるまで、**[TUNING◄◄/►►]**キーを小刻みに押してください。

● オート選局中は音が出ません。

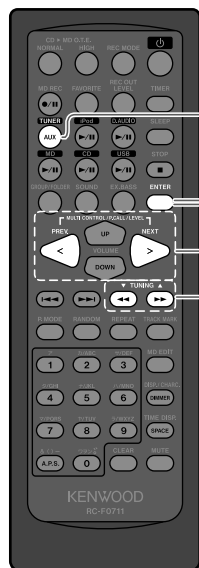
●**[DISP./CHARC.]**キーを押すたびに次のように切り換わります。

「曜日/時刻」を表示するには、あらかじめ時刻を設定してください。（P.108）

→ プリセット番号 ▶ 曜日/時計 ↩

放送局を記憶させる

放送局を選択して好きなプリセット番号に登録します。すでに放送局が記憶されているプリセット番号に登録すると、新しい放送局に変更されます。

● 放送局はFM、AM合わせて最大40局まで記憶できます。

1 記憶させたい受信モードを選ぶ

[TUNER/AUX]キー（リモコン）または**[INPUT SEL.]**キー（本体）を押して切り換えます。

● FMステレオ放送を受信するには、「FM（ステレオ）」を選んでください。

2 記憶させたい放送局を選び、[ENTER]キーを押す

プリセットに登録したい放送局を、オート選局またはマニュアル選局で選びます。（P.53）

MEMORY　P- -　（STEREO ST. FM 88.80 MHz）

プリセット番号が点滅する

● 登録されていないプリセット番号が表示されます。

3 記憶させたいプリセット番号（P01 ～ P40）を選ぶ

[<]または**[>]**キーを押す

MEMORY　P17　（STEREO ST. FM 88.80 MHz）

選んだプリセット番号が表示される

● すでに放送局が記憶されているプリセット番号を選ぶと、新しい設定に変更されます。

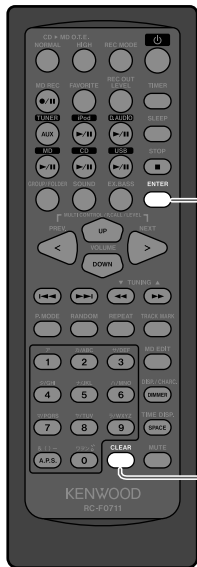
4 [ENTER]キーを押す

TUNER　P17　（STEREO ST. FM 88.80 MHz）

●FM/AMラジオを聞く→P.52

記憶させた放送局をすべて消す

プリセットに登録したすべての放送局を、プリセットから消します。

1 [CLEAR]キーを4秒以上押す

TUNER CLEAR?
STEREO ST.
FM 88.80 MHz

● ディスプレイに“TUNER CLEAR?”と10秒間表示されます。

2 [ENTER]キーを押す

ディスプレイに“TUNER CLEAR?”と表示されている間に、**[ENTER]**キーを押してください。

D.AUDIO

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー（以下「デジタルオーディオプレーヤー」といいます）を接続して再生することができます。

デジタルオーディオプレーヤーを再生する

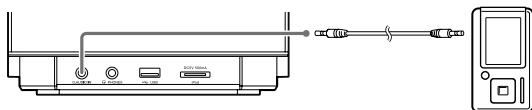
デジタルオーディオプレーヤーを本機に接続して再生します。

● 接続するデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

● 専用接続ケーブルPNC-150（別売）を使って接続すると、本機やリモコンでデジタルオーディオプレーヤーを操作できます。

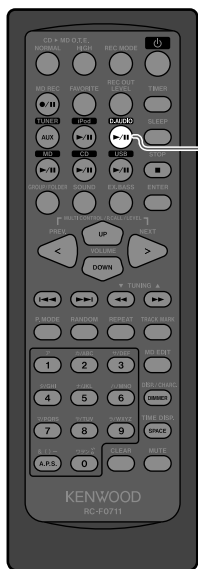
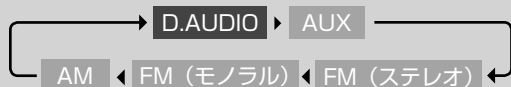
接続可能なケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー（2007年11月現在）

HDDオーディオプレーヤー	メモリオーディオプレーヤー
HD60GD9、HD20GA7、 HD30GA9、HD30GB9、 HD10GB7	M2GD55、M2GD50、M1GD55、 M1GD50、M1GB5、M512B5、 M1GC7、M2GC7、M512C5

1 本体前面部の[D.AUDIO IN]端子にデジタルオーディオプレーヤーを接続する

● 接続するときは、本機とデジタルオーディオプレーヤーの電源は必ずオフにして接続してください。

2 デジタルオーディオプレーヤーの電源を入れる

3 デジタルオーディオプレーヤーを再生する

● [D.AUDIO►/II]キーを押すだけで本機の電源がオンになり、再生が始まります。

●他の機器（市販品）との接続→P.18
●音質設定→P.103 ～
●入力レベルを調整する→P.59

デジタルオーディオプレーヤーを取り外す

1 本機と、デジタルオーディオプレーヤーの電源をオフにする

2 デジタルオーディオプレーヤーを取り外す

● デジタルオーディオプレーヤーの接続ケーブルも、**[D.AUDIO IN]**端子から抜いてください。

■デジタルオーディオプレーヤー再生中の操作

一時停止と再開

[D.AUDIO►/II]キーを押す。

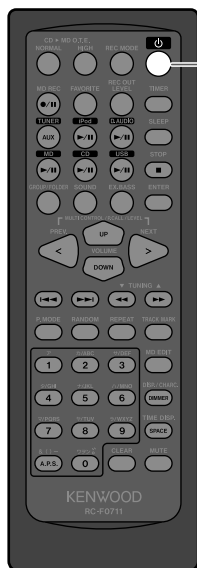
前のフォルダ/ 次のフォルダの曲を再生する

前のフォルダへは**[PREV.]**キーを押す。
次のフォルダへは**[NEXT]**キーを押す。

早送り / 早戻しをする

[I◄◄]または**[►►I]**キーを押し続ける。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

前の曲または次の曲に飛ばす：**[I◄◄]**または**[►►I]**キーを押す。
前の曲へ戻る：**[I◄◄]**キーを連続して2回以上押す。
曲の初めに戻る：**[I◄◄]**キーを1回押す。

- 専用接続ケーブルPNC-150（別売）で接続した場合は、デジタルオーディオプレーヤーの音量、音質設定が固定されます。
- 専用接続ケーブルPNC-150（別売）以外で接続した場合は、接続したデジタルオーディオプレーヤー側で操作します。
- 下記のデジタルオーディオプレーヤーには、フォルダを選んで再生する機能はありません。
  M2GD55、M2GD50、M1GD55、M1GD50

関連情報
●デジタルオーディオプレーヤーを再生する→P.56
●音質設定→P.103 ～

入力レベルを調整する

デジタルオーディオプレーヤーの入力レベルを調整することができます。
同じボリュームでも外部機器からの音量がほかの音源より大きく、または小さく感じた場合は調整してください。

1 デジタルオーディオプレーヤーの電源をオフにする

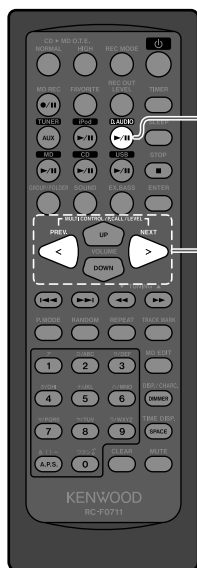
2 [D.AUDIO►/II]キーを押して音源を切り換える

3 入力レベルを設定する

[<]または[>]キーを押す

INPUT -2

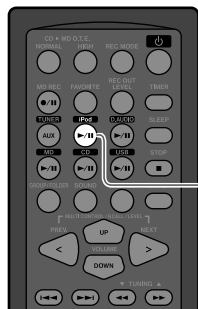
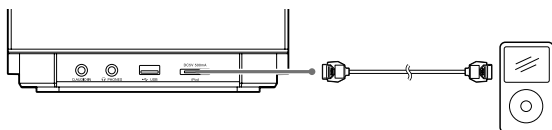
● −3～+3の範囲で調整できます。

● 入力レベルを調整すると、**[D.AUDIO IN]**端子に接続された外部機器から録音する場合の音量も変わります。

iPod

iPod を接続して再生できます。

iPodを接続して再生する

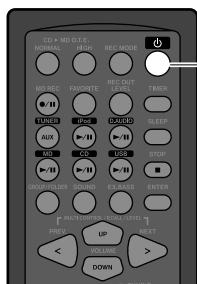
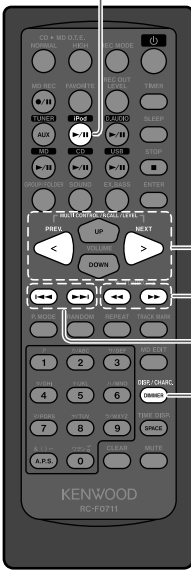
iPod を本機に接続して再生します。

- 接続するiPodの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- iPodをiPod接続ケーブルPNC-iP120（別売）で接続します。（P.19）
- 使用できるiPodについては、P.29を参照してください。

1 本体前面部の[iPod]端子にiPodをiPod接続ケーブルPNC-iP120（別売）で接続する

- 接続するときは、本機とiPodの電源は必ずオフにして接続してください。

2 [iPod►/❚❚]キーを押して再生する

- おもな操作はiPodで行います。

iPodを取り外す

1 本機と、iPodの電源をオフにする

2 iPodを取り外す

- iPod接続ケーブルPNC-iP120（別売）も、**[iPod]**端子から抜いてください。

● 他の機器（市販品）との接続→P.19
● 使用できるiPodについて→P.29
● 音質設定→P.103～

■iPod再生中の操作

一時停止と再開

[iPod►/II]キーを押す。

前のアルバム / 次のアルバムの曲を再生する

前のアルバムへは**[PREV.]**キーを押す。
次のアルバムへは**[NEXT]**キーを押す。

早送り / 早戻しをする

[◄◄]または**[►►]**キーを押し続ける。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

前のまたは次の曲に飛ばす：**[I◄◄]**または**[►►I]**キーを押す。
前の曲へ戻る：**[I◄◄]**キーを連続して2回以上押す。
曲の初めに戻る：**[I◄◄]**キーを1回押す。

バックライトを点灯する

[DISP./CHARC.]キーを押す。

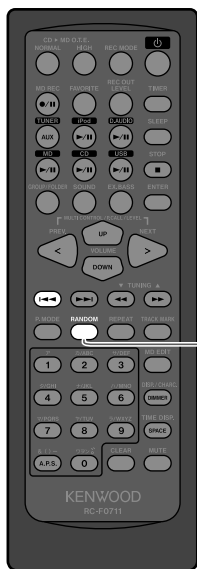
iPodのバックライトが、約30秒間点灯します。

● 本機へ接続している間は、iPodで設定した音量、音質が無効になります。

● 再生中はiPodを外さないでください。故障の原因となります。

● iPodのモデルによって、操作できない機能があります。

曲をランダム再生する（シャッフル）

iPod 内の曲を順不同で再生します。

1 [RANDOM]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。

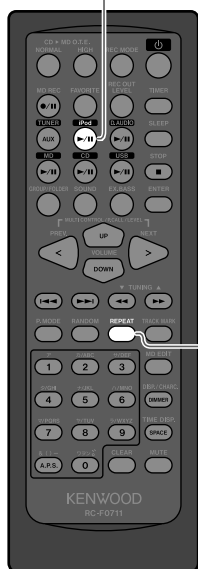
● シャッフルの状態は、iPodの表示部で確認できます。

● iPod classic（第6世代）、iPod nano（第3世代）には対応していません。

● [I◀◀]キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

関連情報
● 音質設定→P.103～

曲をリピート再生する

iPod の曲を繰り返し再生します。

[iPod►/❚❚]キーを押して繰り返したい曲を再生する

[REPEAT]キーを押してリピート再生する

押すたびに次のように切り換わります。

1曲のリピート再生 ▶ 全曲のリピート再生 ▶

● リピートの状態は、iPodの表示部で確認できます。

● iPod classic（第6世代）、iPod nano（第3世代）には対応していません。

● アルバム再生モードのときは、アルバム内でリピート再生します。

● ランダム再生モードのときは、ランダム再生がひと通り終わってから、新たに違う順番でランダム再生が始まります。

アルバム再生モードでランダム再生しているときは、アルバム内の曲が違う順番でランダム再生されます。

外部機器

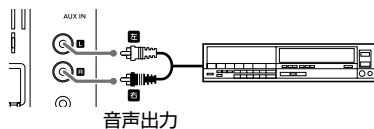
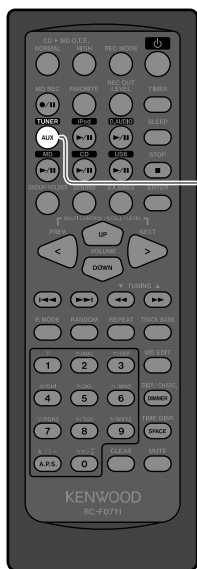
本機に外部機器を接続して曲を再生することができます。

外部機器を再生する

「他の機器（市販品）との接続」（P.19）にしたがって、本機と外部機器を接続します。

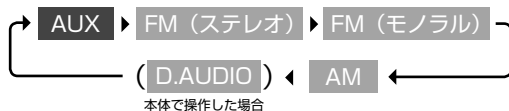
● 接続するときは、本機と外部機器の電源を必ずオフにして接続してください。

● 接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本体背面部の[AUX IN]端子に外部機器を接続する

2 音源をAUXに切り換える

[TUNER/AUX]キーを押す

[INPUT SEL.]キーを押す

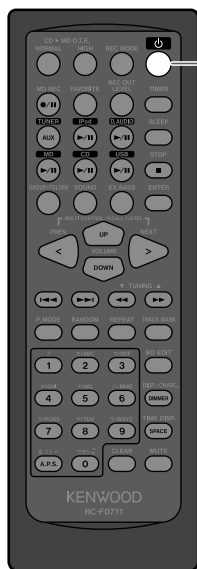
押すたびに次のように音源が切り換わります。

3 接続した外部機器を再生する

接続した外部機器を操作して再生します。

● 他の機器（市販品）との接続→P.19
● 音質設定→P.103 ～
● 入力レベルを調整する→P.66

外部機器を取り外す

1 本機と、外部機器の電源をオフにする

2 外部機器を取り外す

入力レベルを調整する

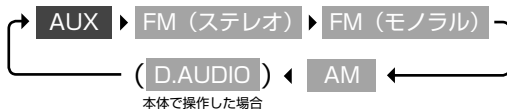
[AUX IN] 端子に接続した外部機器の入力レベルを調整することができます。
同じボリュームでも外部機器からの音量がほかの音源より大きく、または小さく感じた場合は調整してください。

1 音源をAUXに切り換える

[TUNER/AUX]キーを押す

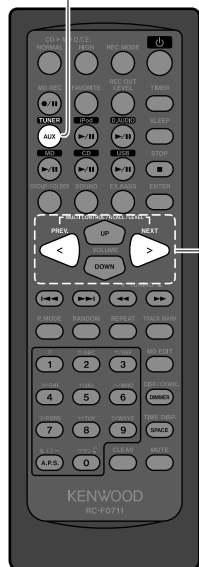
[INPUT SEL.]キーを押す

押すたびに次のように音源が切り換わります。

AUX → FM（ステレオ）→ FM（モノラル）→ AM →（D.AUDIO）→ AUX

2 入力レベルを設定する

[<]または**[>]**キーを押す

● −3〜+3の範囲で調整できます。

● 入力レベルを調整すると、**[AUX IN]**端子に接続された外部機器から録音する場合の音量も変わります。

録音・編集編

録音やMDの編集方法を説明します。
各音源の操作方法については、「音源別操作編」（P.31）をご覧ください。
録音にかかわらない音質の設定や機器の設定については、
「音質設定編」（P.103）「機器設定編」（P.107）をご覧ください。
エラーが表示されたり、困ったことが起きた場合には、
「保守編」（P.117）をご覧ください。

MD録音

MD編集

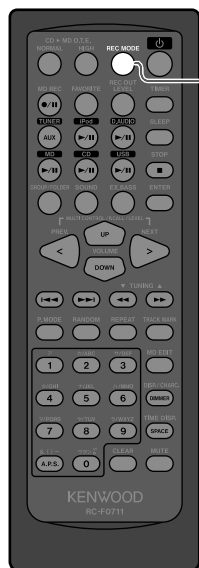
D.AUDIO録音

MD録音

MDにCDやラジオなどを録音します。録音の前に、録音スピードやグループなどを設定してください。
録音の後にタイトルを付けたり、グループを変更したり、さまざまな編集ができます。

録音モードを設定する（MD REC MODE)

MDへの録音モードを、ステレオ、長時間モード、モノラル録音モードから選んで設定します。

● 初期設定はステレオになっています。

[REC MODE]キーを押して録音モードを選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

ステレオで録音します。録音可能時間はディスクに表記されている時間になります。音質を重視する場合にお勧めします。

音声はステレオのまま、録音可能時間はディスクに表記されている時間の2倍になります。音質は「STEREO」より若干劣ります。

音声はステレオのまま、録音可能時間はディスクに表記されている時間の4倍になります。音質は「LP2」より若干劣ります。

モノラルで録音します。録音可能時間はディスクに表記されている時間の2倍になります。

● MDにLPモード（LP2、LP4）で録音した場合、MDLPに対応していない機器では再生できません。

DIGITAL/ANALOG録音モードの切り換え（音楽CDのみ）

DIGITAL録音モード録音できない音楽CDは、ANALOG録音モードに切り換えて録音できます。

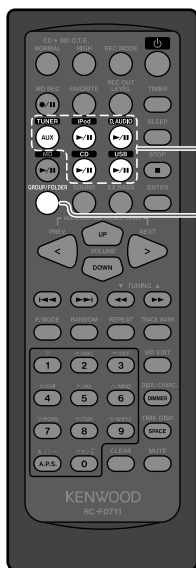
録音一時停止中に[REC MODE]キーを押し続ける

押し続けるたびに次のように切り換わります。

●MD編集→P.76 ～

グループ録音モードを設定する

あらかじめ作成してあるグループに録音したり、新しいグループを作成しながら録音するのに便利なモードです。

● 最大で99グループ作成できます。

録音する音源を選ぶ

● CD、USB、iPod、D.AUDIOの場合は、再生を停止してください。

● CDのMP3とWMAや、USB機器から録音する場合は、CDやUSB機器を挿入していない状態で操作してください。

[GROUP/FOLDER]キーを押してグループ録音モードにする

押すたびに次のように切り換わります。

グループ
録音モード

トラック
録音モード

録音先のグループを選ぶには

録音操作時に“＊NEW GROUP＊”が表示されたら、**[GROUP/FOLDER]**キーを押して録音先のグループを選びます。

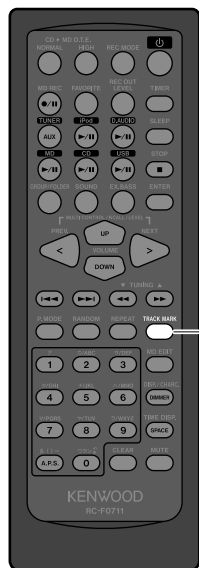
● “＊NEW GROUP＊”を選ぶと、新しいグループを作成して録音します。

● “NON GROUP”を選ぶと、グループ録音モードを解除して録音します。

● グループ録音したMDを他の機器で使用した場合は、正しく動作しないことがあります。

トラックマークの間隔を設定する（AUTO MARK）

ラジオ放送などのアナログ音源を MD に録音する場合、自動的にトラックマークを記録することができます。

● 初期設定は5分間隔になっています。

1 [TRACK MARK]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。

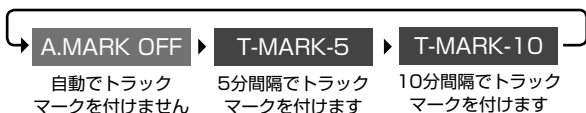
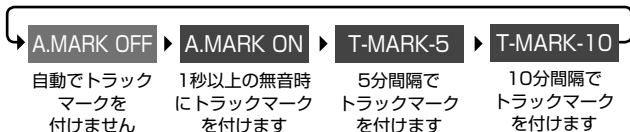
■ラジオの場合

A.MARK OFF ▶ T-MARK-5 ▶ T-MARK-10

- A.MARK OFF：自動でトラックマークを付けません
- T-MARK-5：5分間隔でトラックマークを付けます
- T-MARK-10：10分間隔でトラックマークを付けます

■iPod、D.AUDIO、AUXの場合

A.MARK OFF ▶ A.MARK ON ▶ T-MARK-5 ▶ T-MARK-10

- A.MARK OFF：自動でトラックマークを付けません
- A.MARK ON：1秒以上の無音時にトラックマークを付けます
- T-MARK-5：5分間隔でトラックマークを付けます
- T-MARK-10：10分間隔でトラックマークを付けます

● 録音中にトラックマークを手動で付けることができます。（P.75）

● CDとUSBの場合は、自動的に曲間でトラックマークが付きます。

● MD編集→P.76 ～

MDの録音について

本機では、以下の方法で録音ができます。

音楽CDを丸ごと録音（定速録音）	ワンタッチエディット録音（ノーマルスピード）	P.72
音楽CDを丸ごと録音（4倍速録音）	ワンタッチエディット録音（ハイスピード）……	P.72
音楽CDの好きな曲を選んで録音	フェイバリット録音…………………………………	P.73
音楽CD以外を録音*	………………………………………………………………	P.74

＊ MP3やWMAのオーディオファイルを記録したディスクは、この方法で録音します。

MDの録音時の表示について

■録音が終了すると

MD WRITING

● “MD WRITING” 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

● “MD WRITING” が完了する前に電源が切れると録音した内容は消えます。

■録音中にMDがいっぱいになると

DISC FULL

● 録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(P.78)

■録音できないMDのときは

PROTECTED　　PLAY ONLY

書き込み禁止の場合　　再生専用のMDの場合

■4倍速録音後に、同じCDを録音できないときは

WAIT-74m GUARD

交互に表示されます

● HCMS（ハイスピードコピーマネジメントシステム）により、4倍速録音を開始すると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じ曲を4倍速録音することはできません。(P.30)

● CD、MDが再生中の場合は、**[■]**キーを押して再生を停止します。

● ディスプレイに “” が点灯している場合は、**[RANDOM]**キーを押してランダム再生モードを解除します。

● 録音する音源の曲番と録音されたMDの曲番が一致しない場合があります。(P.123)

CDをまるごとMDに録音する（ワンタッチエディット録音）

ワンタッチで、音楽 CD を定速（ノーマルスピード）または 4 倍速（ハイスピード）で、全曲を録音できます。（音楽 CD のみ）

定速（ノーマルスピード）で録音する

[CD▶MD O.T.E./NORMAL]キーを押して録音する

CDからMDへの録音が始まります。

- グループ録音モードの場合は録音先のグループを選び、再度録音操作をしてください。（P.69）

4倍速（ハイスピード）で録音する

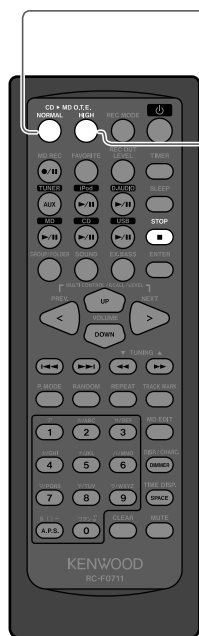
[CD▶MD O.T.E./HIGH]キーを押して録音する

CDからMDへの録音が始まります。

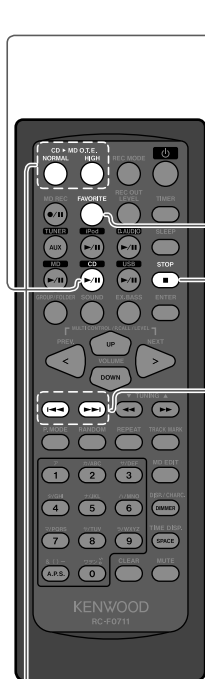
- 4倍速での録音中は、音は聞こえません。
- グループ録音モードの場合は録音先のグループを選び、再度録音操作をしてください。（P.69）

■途中でやめるには

[■]キーを押す。

- 一時停止はできません。

関連情報
● 録音モードを設定する→P.68
● グループ録音モードを設定する→P.69

CDの好きな曲をMDに録音する（フェイバリット録音）

音楽 CD の好きな曲を好きな順番で録音することができます。4 倍速で録音もできます。（音楽 CD のみ）

[CD►/II]キーを押して音源をCDに切り換える

[I◄◄]または[►►I]キーで曲を選ぶ

[FAVORITE]キーを押す

曲が登録されます。

曲が登録されている

合計時間

2曲以上選ぶときは、手順2から3を繰り返す

● 20曲まで選ぶことができます。

■曲を解除するには

[I◄◄]または**[►►I]**キーで曲を選び、**[FAVORITE]**キーを押す。

■全ての曲を解除するには

[■]キーを2回押す。

● “FAVORITE”表示が消えます。

[■]キーを押して再生を停止する

[CD▶MD O.T.E./NORMAL]（定速）または[CD▶MD O.T.E./HIGH]（4倍速）キーを押して録音する

CDからMDへの録音が始まります。

● グループ録音モードの場合は録音先のグループを選び、再度録音操作をしてください。（P.69）

■途中でやめるには

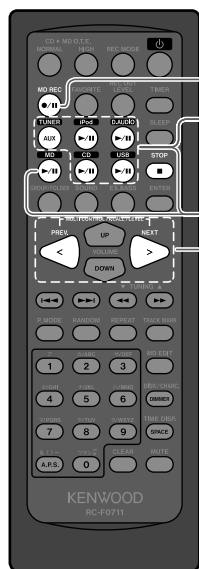
[■]キーを押す。

● 一時停止はできません。

● リピート再生を設定している場合にフェイバリット録音を設定すると、録音中は一時的にリピート再生が解除されます。
録音が終了すると、リピート再生の設定に戻ります。

● ランダム再生を設定している場合に、フェイバリット録音はできません。ランダム再生モードを解除してから操作してください。

さまざまな音源からMDに録音する

CD、ラジオ放送、USB、デジタルオーディオプレーヤー（D.AUDIO）、iPod、外部機器で再生した音を MD に録音します。

録音する音源を選ぶ

[CD►/II]、**[TUNER/AUX]**、**[USB►/II]**、**[D.AUDIO►/II]**、**[iPod►/II]**キーを押します。

録音の準備をする

■CD、USB、デジタルオーディオプレーヤー、iPod、外部機器の場合

[CD►/II]、**[USB►/II]**、**[D.AUDIO►/II]**、**[iPod►/II]**キーを押し、再生を一時停止します。
録音したい曲を選んだり、録音したい箇所で一時停止します。（P.32、34、56、60）
外部機器の場合は、外部機器を操作します。

■ラジオの場合

選局します。（P.52）

3 [●/II]キーを押して録音待機する

録音一時停止（待機）状態になります。

● グループ録音モードの場合は録音先のグループを選びます。（P.69）

MD内のトラック番号

録音

一時停止

MDの録音可能
残り時間

録音レベルを調整する

● ラジオ以外は、**[<]**または**[>]**キーを押すと録音レベルを調整することができます。
録音レベルは－4 ～ +10dBの範囲を2dBステップで調整します。

5 録音を始める

■CD、USBの場合

[CD►/II]、**[USB►/II]**キーを押して録音を始める。

■CD、USB以外の場合

[MD►/II]キーを押して録音を始める。

● 外部機器の場合は、外部機器を操作して再生を始めます。

● 録音モードを設定する→P.68
● DIGITAL/ANALOG録音モードの切り換え→P.68
● グループ録音モードを設定する→P.69
● トラックマークの間隔を設定する→P.70

■一時停止するには

[●/❚❚]または**[MD►/❚❚]**キーを押す。

● 再び録音を始める場合は、もう一度押します。この場合、トラック番号は1つ繰り上がります。

■途中でやめるには

[■]キーを押す。

録音中にトラックを分割するには

CDのアナログ録音、ラジオ、USB、iPod、デジタルオーディオプレーヤー、外部機器からの録音では、手動でトラックマーク（曲を区切るマーク）を付けることができます。

● 録音中に区切りたい場所で**[ENTER]**キーを押す。

● 自動でトラックマークを付けることもできます。(P.70)

● トラックは、あとから分割したり（P.82)、つないだり（P.81）できます。

● トラックマークを付けたあと、次のトラックマークを付けるまでに以下の間隔をあけてください。
SP（ステレオ録音）モード：約2秒
LP2（ステレオ2倍長時間録音）モード：約4秒
LP4（ステレオ4倍長時間録音）モード：約8秒
MONO（モノラル録音）モード：約4秒

MD に録音した曲の消去や移動ができるほか、タイトルを付けたり、グループ編集ができます。

MDの編集について

本機では、以下の編集ができます。

曲を編集する

曲を消す イレース（Tr-ERASE、ALL ERASE）	MDに録音した曲（1曲または全曲）を消します。	P.78 P.79
曲を移動する ムーブ（MOVE）	曲を好きな順序に並び変えます。	P.80
曲をつなぐ コンバイン（COMBINE）	分割されている曲をまとめます。	P.81
１曲を分ける デバイド（DIVIDE）	曲の途中でトラック分けします。	P.82

タイトルを編集する

タイトルを入力・変更する （DISC NAME、GROUP NAME、 TRACK NAME）	タイトル（ディスク名、グループ名、曲名）を入力･変更します。	P.83 P.84 P.85
文字入力のしかた	アルファベット、数字、カタカナを入力できます。	P.86
タイトルをメモする ネームメモ（NAME MEMO）	タイトルを本機に登録します。（ほかのMDにコピーできます。）	P.88
タイトルをコピーする ネームコピー（NAME COPY）	登録したタイトルを、ほかのMDにコピーします。	P.89
タイトル名を消去する	ディスク名、グループ名、曲名を消します。	P.90

グループを編集する

グループを作成する グループリザーブ（Gr-RESERVE）	録音する前などに、グループを作成しておきます。	P.91
グループ登録する グループエントリー（Gr-ENTRY）	曲をグループに分けます。	P.92
曲を別のグループに移動する グループチェンジ（Gr-CHANGE）	曲をお好みのグループに移動します。	P.94
グループを先頭に移動する グループトップムーブ（Gr-TOP-MOVE）	お好みのグループを先頭に移動します。	P.96
グループを解除する グループキャンセル（Gr-CANCEL）	曲のグループ分けを解除します。	P.97
グループに含まれていない曲を最後に移動する グループアレンジ（Gr-ARRANGE）	グループから解除した曲を、MDの最後に移動します。	P.98
グループと曲を消す グループイレース（Gr&Tr-ERASE）	グループを選択して、グループとそのグループに含まれている曲を消します。	P.99

● MD録音→P.68～

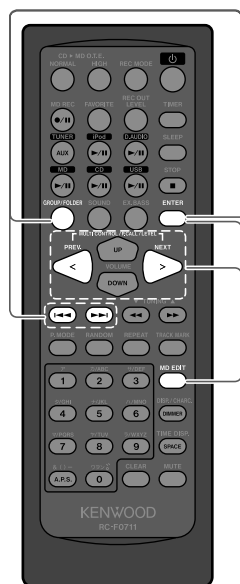
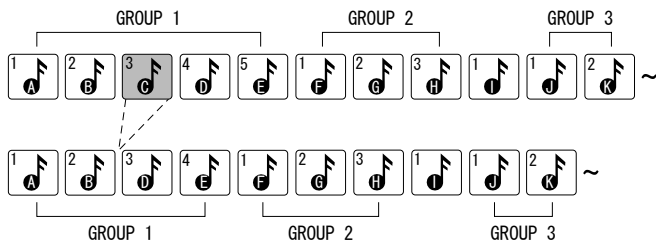
MD編集時の注意

- **[MD►/II]**キーを押して、音源をMDに切り換えます。
  切り換えると再生が始まるので、**[■]**キーを押して再生を停止します。
- グループ録音されているMDを編集する場合は、**[GROUP/FOLDER]**キーを押してグループモードに設定します。
- “PGM”が点灯している場合は、**[CLEAR]**キーを押してプログラム再生モードを解除します。
- MDの誤消去防止つまみが開いていると、操作を実行しても“PROTECTED”と表示され、編集ができません。
- MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。
- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- 他の機器でグループ録音したMDを、本機で編集すると正しく動作しないことがあります。

曲を消す

MD に録音した曲（1 曲または全曲）を消します。

● 一度消した曲は元に戻せません。本操作を行うときはご注意ください。

1曲消す場合（Tr-ERASE）

1 [I◀◀]または[▶▶I]キーで曲を選ぶ

● グループ録音されているMDの場合は、**[GROUP/FOLDER]**キーでグループを選んでから曲を選びます。

● 再生している場合は、**[■]**キーを押して停止してから操作してください。

2 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

Tr-ERASE

▼

[ENTER]キーを押す

3 確認して、実行する

ERASE 3?

例）3曲目を消す場合

▼

[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

● 消した曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。

関連情報

●グループモードにする→P.48
●グループと曲を消す→P.99

全曲消す場合（ALL ERASE）

1 [MD EDIT]キーを押す

[<]または[>]キーで選ぶ

GROUP
ALL ERASE

▼

[ENTER]キーを押す

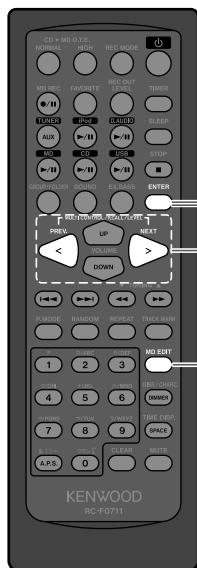
● 再生している場合は、[■]キーを押して停止してから操作してください。

2 確認して、実行する

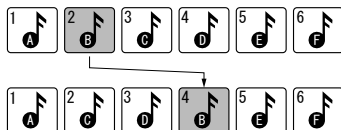
GROUP
ALL ERASE?

▼

[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには
[MD EDIT]キーを押す。

● グループ録音されているMDの場合は、グループを消去してから（P.99）本操作を行ってください。

曲を移動する（MOVE）

曲のトラック番号を変更することで、曲の並び順を変えることができます。繰り返し行うことで、全曲を好きな順序に並べ変えることができます。

1 [|◀◀]または[▶▶|]キーで移動する曲を選ぶ

- グループ録音されているMDの場合は、**[GROUP/FOLDER]**キーでグループを選んでから曲を選びます。
- 再生している場合は、**[■]**キーを押して停止してから操作してください。

2 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーを押す

MOVE

▼

[ENTER]キーを押す

3 [<]または[>]キーで曲の移動先を選ぶ

2→ 4OK?

例）移動先に4曲目を選択した場合

▼

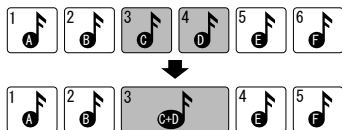
[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには
[MD EDIT]キーを押す。

- ディスクに1曲だけしか入っていない場合は移動できません。
- 曲を別のグループに移動するには、「Gr-CHANGE」で編集します。（P.94）
- 曲を移動すると、他の曲のトラック番号は自動的に調整されます。

関連情報
●グループモードにする→P.48
●曲と別のグループに移動する→P.94

曲をつなぐ（COMBINE）

２つの曲をつないで、１曲にします。繰り返し行うことで、いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。

1 [|◀◀]または[▶▶|]キーで後ろにつなぐ曲を選ぶ

● グループ録音されているMDの場合は、**[GROUP/FOLDER]**キーでグループを選んでから曲を選びます。

● 連続していない2つの曲をつなぐには、あらかじめ「MOVE」を使用して、2つの曲を連続させておいてください。（P.80）

● 再生している場合は、**[■]**キーを押して停止してから操作してください。

2 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

COMBINE

▼

[ENTER]キーを押す

3 確認して、実行する

3+　4?

例）3曲目と4曲目をつなぐ場合

▼

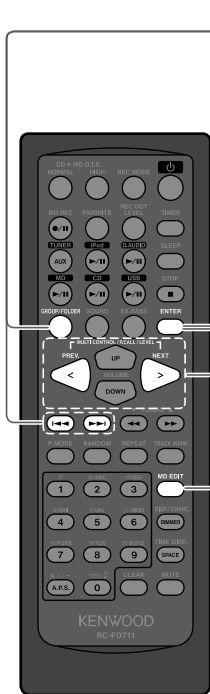
[ENTER]キーで確定する

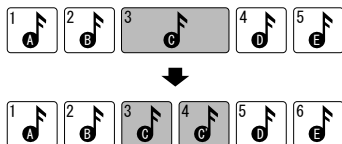
■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

● グループになっている曲は、グループ内の曲にしかつなぐことができません。別のグループの曲につなぐときは「Gr-CHANGE」（P.94）を使って2つの曲を連続させておいてください。

● 異なる録音モードの曲はつなぐことができません(例:LP4+LP2 など)。Net MD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲も、つなぐことができません。

● つないだ曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中にトラック番号を追加して曲を分割します。特に聞きたいところにトラック番号を追加しておくと、スキップできるので便利です。

1 MDの曲を再生し、分けたいポイントで一時停止する

2 [MD EDIT]キーを押す

[<]または[>]キーで選ぶ

DIVIDE

[ENTER]キーを押す

3 確認して、実行する

DIVIDE OK?

[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

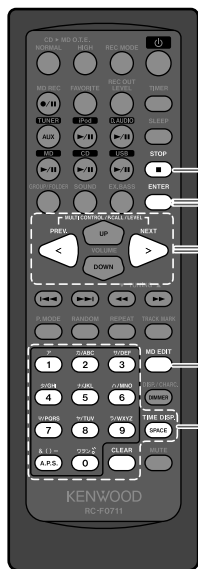
- 分けた曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。
- トラック番号が最大254まで曲を分割できます。
- グループ登録した曲を分けた場合も、分けた曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。グループの範囲が変わることはありません。
- 分ける曲に曲名・録音日時が付いているときは、両方に同じ曲名・録音日時がつきます。

関連情報
●グループモードにする→P.48
●文字の入力のしかた→P.86
●タイトルをコピーする→P.89

ディスク名、グループ名、曲名を入力・変更する

タイトル名（ディスク名、グループ名、曲名）を入力したり変更することができます。40 文字まで入力ができます。

ディスク名を入力・変更する場合（DISC NAME）

● グループ録音したMDを編集する場合は、**[GROUP/FOLDER]**キーを押して“GROUP”を表示させておいてください。

1 [■]キーを押して再生を停止する

2 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

MD DISC NAME

[ENTER]キーを押す

3 数字キーで文字を入力する

HAPP_ <AB

文字を入力後、**[ENTER]**キーで確定する

● 文字の入力は、「文字入力のしかた」をご覧ください。（P.86）

例）HAPPY と入力する場合

文字	キー	押す回数
H	4	2回押します
A	2	1回押します
P	7	1回押します
カーソルを移動	>	1回押します
P	7	1回押します
Y	9	3回押します

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

グループ名を入力・変更する場合（GROUP NAME）

● グループ録音したMDを編集します。

1 [■]キーを押して再生を停止する

2 [GROUP/FOLDER]キーを押してグループを選ぶ

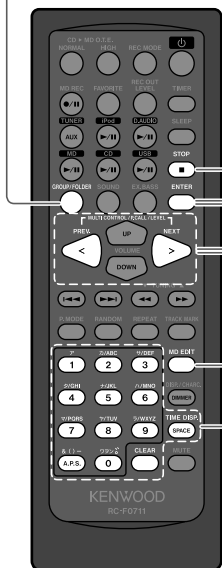
3 [MD EDIT]キーを押す

[<]または[>]キーで選ぶ

[ENTER]キーを押す

4 文字を入力する（P.86を参照）

文字を入力後、**[ENTER]**キーで確定する

■途中でやめるには
[MD EDIT]キーを押す。

●グループモードにする→P.48
●文字入力のしかた→P.86
●タイトルをコピーする→P.89

曲名を入力・変更する場合（TRACK NAME）

● グループ録音したMDを編集するには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押して、“GROUP”を表示させておいてください。

1 [■]キーを押して再生を停止する

2 [I◄◄]または[►►I]キーで曲を選ぶ

3 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

TRACK NAME

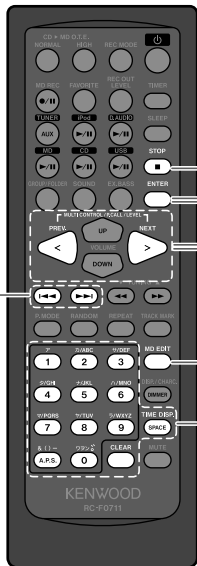
▼

[ENTER]キーを押す

4 文字を入力する（P.86を参照）

文字を入力後、**[ENTER]**キーで確定する

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

文字入力のしかた

タイトルにはアルファベット、数字、カタカナを入力できます。

[DISP./CHARAC.]キーを押して文字グループを選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

アルファベット 大文字　アルファベット 小文字　カタカナ

数字キーで文字を入力する

例）グループ［AB］で ② を押したときの表示。

A ▸ B ▸ C ▸ 2

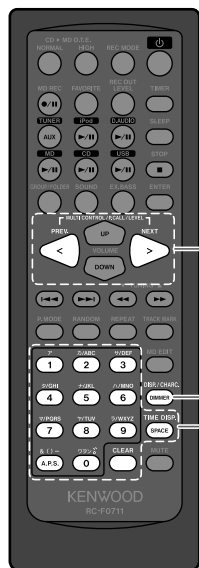
押すごとに切り換わります。

● 詳しくはタイトル編集文字一覧表をご覧ください。（P.87）

■文字を消すときは

[<]または[>]キーでカーソルを移動し、**[CLEAR]**キーを押す。

■文字を挿入するときは

[<]または[>]キーで挿入する箇所にカーソルを移動し、文字を入力する。

- 1曲につき最大40文字まで入力できます。
- カタカナを使用したり、曲数が多い場合は、入力できる文字数が少なくなります。
- スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じデータを必要とします。

関連情報
●グループ名、曲名を入力・変更する→P.83
●タイトルをコピーする→P.89

【タイトル編集文字一覧表】

数字キー ＼ グループ	AB	ab	カナ
(1) 1ア	1	1	アイウエオァィゥェォ
(2) 2カABC	A B C 2	a b c 2	カキクケコ
(3) 3サDEF	D E F 3	d e f 3	サシスセソ
(4) 4タGHI	G H I 4	d h i 4	タチツテトッ
(5) 5ナJKL	J K L 5	j k l 5	ナニヌネノ
(6) 6ハMNO	M N O 6	m n o 6	ハヒフヘホ
(7) 7マPQRS	P Q R S 7	p q r s 7	マミムメモ
(8) 8ヤTUV	T U V 8	t u v 8	ヤユヨャュョ
(9) 9ラWXYZ	W X Y Z 9	w x y z 9	ラリルレロ
(0) 0ワヲン゛゜	0	0	ワヲン゛゜
(A.P.S.) & ( ) -	- . , / : ? & ( ) ! " # $ % * ; < = > @ _ ‘ + ,		
(SPACE)	（スペース）		

＊ ゛（濁点）゜（半濁点）はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
＊ ディスクタイトル、グループタイトルには/（スラッシュ）を連続して入力しないでください。グループ登録が正しく認識できなくなる場合があります。

タイトルをメモする（NAME MEMO）

タイトル（ディスク名、グループ名、曲名）を本機に登録します。登録したタイトルは、ほかの MD にコピーできます。

● グループ録音したMDを使用するには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押して“GROUP”を表示させておいてください。

1 [■]キーを押して再生を停止する

2 コピーするディスク名、グループ名、曲名を選択する

● ディスク名をコピーするには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押してグループモードを解除します。（P.48）

● グループ名をコピーするには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押してグループを選択します。（P.48）

● 曲名をコピーするには、**[I◄◄]**または**[►►I]**キーで曲を選択します。

3 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

NAME MEMO

▼

[ENTER]キーを押す

4 登録したいメモ番号を選ぶ

[<]または**[>]**キーで選ぶ

M 6:

例）M6に登録する場合

▼

[ENTER]キーで確定する

M 6:HAPPY

例）M6に「HAPPY」と登録した場合

● タイトル名は25文字までコピーできます。

● タイトルは20件まで本機に登録できます（M1 ～ M20)。

● M1 ～ M5は登録済みですが、変更することもできます。

M1	BEST
M2	SINGLES
M3	ALBUM
M4	MY FAVORITES
M5	LIVE

関連情報
●グループモードにする→P.48
●ディスク名、グループ名、曲名を入力・変更する→P.83

タイトルをコピーする（NAME COPY）

本機に登録したタイトルを利用して、ディスク名、グループ名、曲名を付けます。

● グループ録音したMDを編集するには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押して“GROUP”を表示させておいてください。

[■]キーを押して再生を停止する

タイトルを付けるディスク、グループ、曲を選択する

● ディスク名を付けるには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押してグループモードを解除します。（P.48）

● グループ名を付けるには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押してグループを選択します。（P.48）

● 曲名を付けるには、**[I◀◀]**または**[▶▶I]**キーで曲を選択します。

[MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

NAME COPY

[ENTER]キーを押す

利用したいタイトルを選ぶ

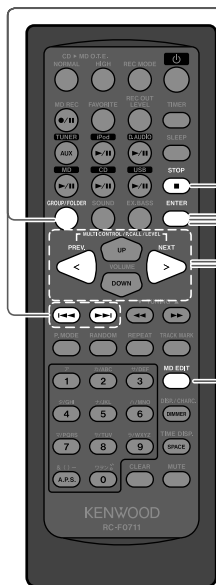
[<]または**[>]**キーで選ぶ

M 6:HAPPY

例）M6の「HAPPY」をコピーする場合

[ENTER]キーを押す

確認して、実行する

[ENTER]キーで確定する

タイトル名を消去する

ディスク名やグループ名、曲名を消すことができます。

● タイトル名を消去しても、ディスクの消去、グループの削除、曲の削除はされません。

● グループ録音したMDを編集するには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押して“GROUP”を表示させておいてください。

1 [■]キーを押して再生を停止する

2 タイトルを消去するディスク、グループ、曲を表示させる

● ディスク名を消去するには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押してグループモードを解除します。(P.48)

● グループ名を消去するには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押してグループを選択します。(P.48)

● 曲名を消去するには、**[I◄◄]**または**[►►I]**キーで曲を選択します。

3 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

● ディスク名を消去するには、“DISC NAME”を選ぶ。

DISC NAME

● グループ名を消去するには、“GROUP NAME”を選ぶ。

GROUP
GROUP NAME

● 曲名を消去するには“TRACK NAME”を選ぶ。

TRACK NAME

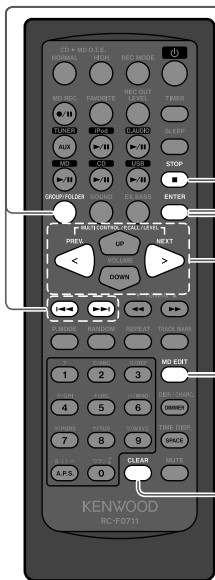
▼

[ENTER]キーを押す

4 [CLEAR]キーを3秒以上押す

NAME CLEAR?

5 確認して、実行する

[ENTER]キーで確定する

●グループモードにする→P.48
●グループ名を入力・変更する場合→P.84
●文字入力のしかた→P.86
●タイトルをコピーする→P.89
●曲を別のグループに移動する→P.94

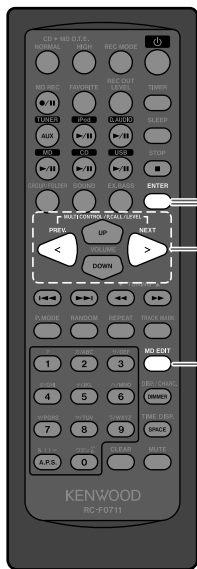
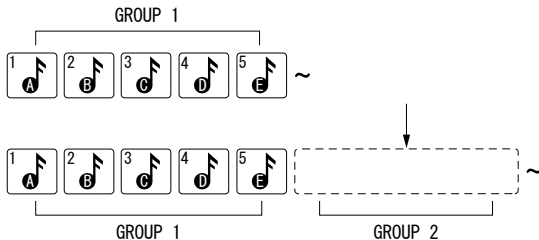
グループを作成する（Gr-RESERVE）

録音する前に、グループを作成しておくことができます。

● グループ録音したMDを編集するには、**[GROUP/FOLDER]**キーを押して“GROUP”を表示させておいてください。

[MD EDIT]キーを押す

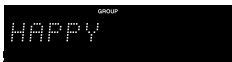
[<]または**[>]**キーで選ぶ

GROUP
Gr-RESERVE

[ENTER]キーを押す

グループ名を入力する（P.86を参照）

● グループ名がないとグループを作成できません。

3 確認して、実行する

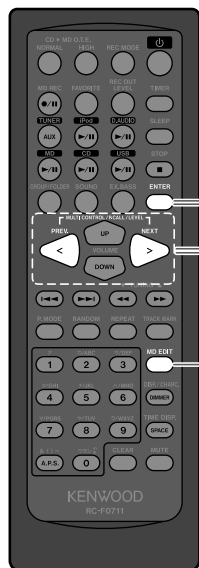
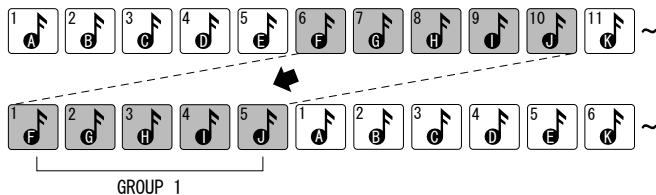
GROUP
HAPPY

[ENTER]キーで確定する

手順２で入力したグループ名のグループが作成されます。このグループに録音するか、「Gr-CHANGE」（P.94）で曲を移動させてください。

■途中でやめるには
[MD EDIT]キーを押す。

●「Gr-RESERVE」を行うと、曲を録音するまでそのグループの名前を消去できません。

グループ登録する（Gr-ENTRY）

ステレオ長時間モード (LP2 または LP4) などで複数のアルバムやたくさんの曲を録音すると、曲を管理するのが大変になります。曲をグループに分けると、曲数の多い MD が使いやすくなります。

1 [MD EDIT]キーを押す

[<]または[>]キーで選ぶ

[ENTER]キーを押す

[ENTER]キーを押す

2 グループの先頭曲を選ぶ

[<]または[>]キーで選ぶ

[ENTER]キーを押す

例）6曲目をグループの
　　先頭曲に選んだ場合。

● 曲名がある場合は、トラック番号の後ろに曲名も表示します。

● 他のグループに登録されている曲は、選ぶことはできません。

●グループモードにする→P.48
●曲を移動する→P.80
●ディスク名、グループ名、曲名を入力・変更する→P.83

3 グループの最終曲を選ぶ

[<]または[>]キーで選ぶ

例）10曲目をグループの最終曲に選んだ場合。

● 曲名がある場合は、トラック番号の後ろに曲名も表示します。

[ENTER]キーを押す

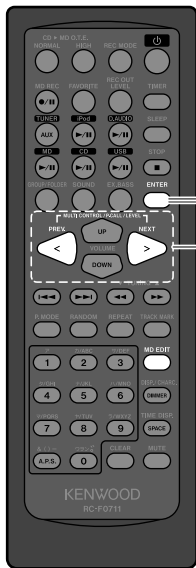
● 他のグループに登録されている曲は、選ぶことはできません。

● グループは1曲だけでも登録できます。

4 確認して、実行する

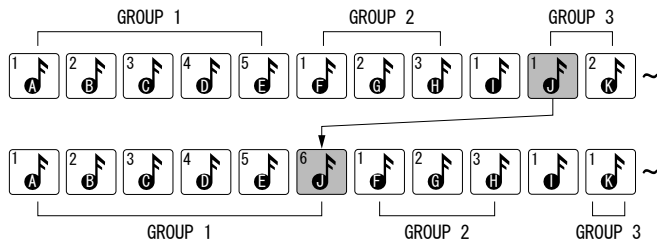
[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

● グループ作成時のグループ名は、自動的に「GROUP01」からはじまる連番になっています。グループ名を変更するには、「グループ名を入力・変更する場合」（P.84）をご覧ください。

● 連続した曲だけがひとつのグループにまとめられます。連続してない曲をグループに入れたいときは、あらかじめ曲を移動(MOVE)してください。(P.80)

曲を別のグループに移動する（Gr-CHANGE）

曲をお好みのグループに整理します。

1 移動する曲が含まれるグループを選ぶ

[GROUP/FOLDER]キーを押してグループを選ぶ

2 移動する曲を選ぶ

[I◀◀]または**[▶▶I]**キーで曲を選ぶ

3 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

GROUP
Gr-CHANGE

▼

[ENTER]キーを押す

4 移動先のグループを選ぶ

[<]または**[>]**キーを押してグループを選ぶ

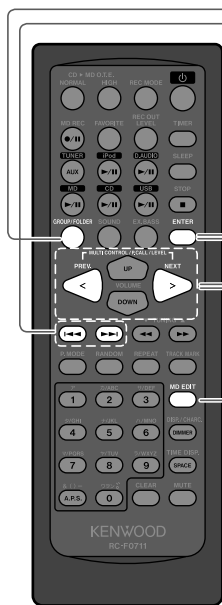
GROUP
GROUP 1

例）グループ1を選んだ場合。

▼

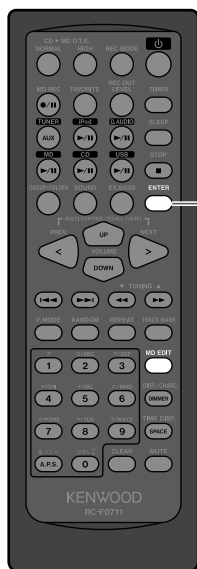
[ENTER]キーを押す

● 曲をグループからはずすには、“NON GROUP”を選びます。

関連情報
●グループモードにする→P.48
●曲を移動する→P.80

確認して、実行する

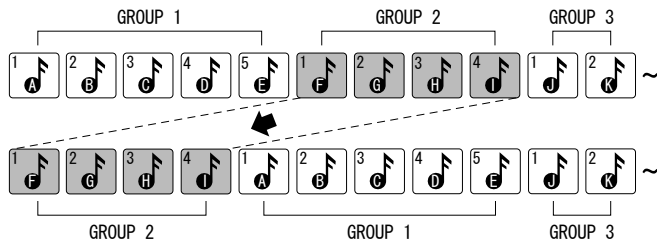
GROUP
CHANGE OK?

[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

● グループ内のすべての曲を別のグループに移動すると、そのグループとグループ名は消えます。

グループを先頭に移動する（Gr-TOP-MOVE）

お好みのグループを先頭に移動することができます。

1 移動したいグループを選択する

[GROUP/FOLDER]キーを押してグループを選ぶ

2 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

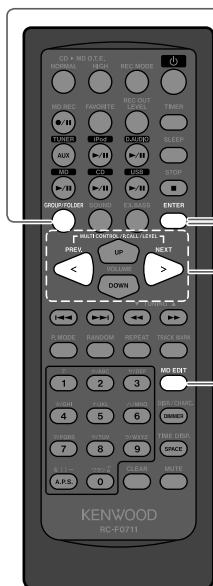
GROUP
Gr-TOP-MOVE

[ENTER]キーを押す

3 確認して、実行する

GROUP
Gr-MOVE OK?

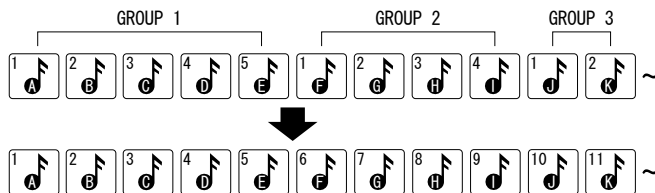
[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには
[MD EDIT]キーを押す。

●「Gr-TOP-MOVE」を行うと、グループに入っていない曲の順番が変わります。

●グループモードにする→P.48

グループを解除する（Gr-CANCEL）

グループをすべて解除します。

● グループを解除しても、曲は削除されません。

1 グループモードに設定する

[GROUP/FOLDER]キーを押して“GROUP”を表示させる

2 [MD EDIT]キーを3秒以上押す

Gr-CANCEL

▼

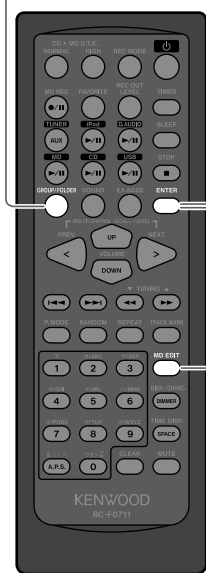
[ENTER]キーを押す

3 確認して、実行する

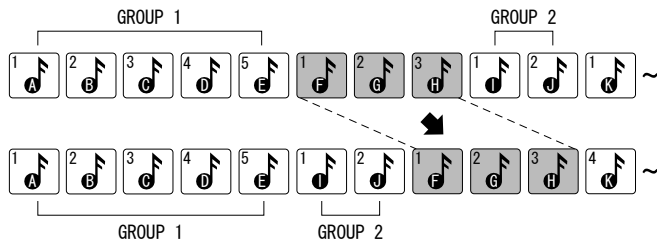
EDIT OK?

▼

[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

グループに含まれていない曲を最後に移動する（Gr-ARRANGE）

グループから解除した曲を、MD の最後に移動します。

1 グループモードに設定する

[GROUP/FOLDER]キーを押して“GROUP”を表示させる

2 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

Gr-ARRANGE

▼

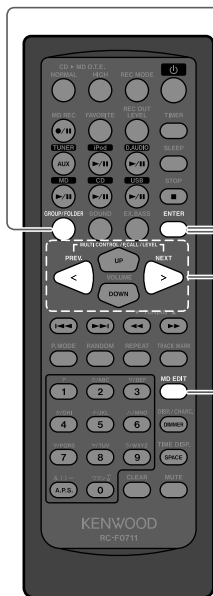
[ENTER]キーを押す

3 確認して、実行する

ARRANGE OK?

▼

[ENTER]キーで確定する

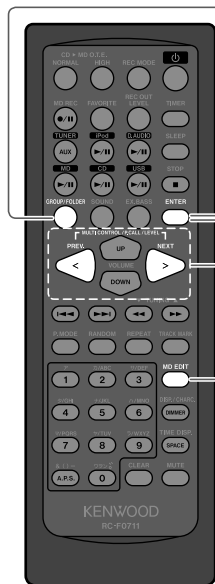
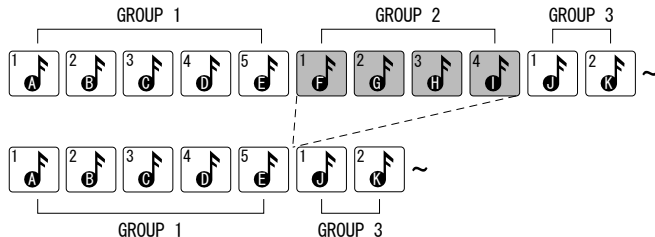
■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

●「Gr-ARRANGE」を行うと、グループに入っていない曲の順番が変わります。

関連情報
●グループモードにする→P.48
●曲を消す→P.78

グループと曲を消す（Gr&Tr-ERASE）

グループを選択して、グループとそのグループに含まれている曲を消します。

●「Gr&Tr-ERASE」を行うと、曲が消されて元に戻せません。本操作を行う場合はご注意ください。

1 消したいグループを選ぶ

[GROUP/FOLDER]キーを押してグループを選ぶ

2 [MD EDIT]キーを押す

[<]または**[>]**キーで選ぶ

Gr&Tr-ERASE

▼

[ENTER]キーを押す

3 確認して、実行する

GrERASE OK?

▼

[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押す。

D.AUDIO録音

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー（以下「デジタルオーディオプレーヤー」といいます）を接続して録音することができます。

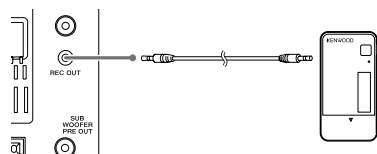
デジタルオーディオプレーヤーに録音する

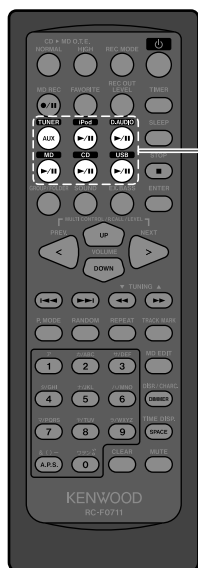
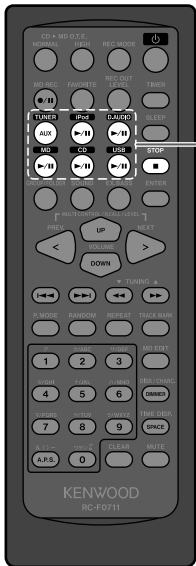
さまざまな音源からケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーに録音します。デジタルオーディオプレーヤーは無音部分を感知し、自動でトラックを作成することもできます。（P.70）

- 接続するときは、本機とデジタルオーディオプレーヤーの電源は必ずオフにして接続してください。
- 接続するデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 音源となる機器を接続しておきます。

接続可能なケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー（2007年11月現在）

メモリオーディオプレーヤー
M1GB5、M512B5、M2GC7、M1GC7

本体背面の[REC OUT]端子にデジタルオーディオプレーヤーを接続する

録音する音源を選ぶ

[MD►/II]、**[CD►/II]**、**[USB►/II]**、**[iPod►/II]**、**[TUNER/AUX]**(リモコンのみ)、**[INPUT SEL.]**（本体のみ）、**[D.AUDIO►/II]**(リモコンのみ)キーを押して選びます。

関連情報
●他の機器（市販品）との接続→P.19
●トラックマークの間隔を設定する→P.70
●録音レベルの調整→P.102

3 録音の準備をする

■MD、CD、USB、iPodの場合

[MD►/❚❚]、**[CD►/❚❚]**、**[USB►/❚❚]**、**[iPod►/❚❚]**キーを押し、再生を一時停止します。
録音したい曲を選んだり、録音したい箇所で一時停止します。(P.32、34、44、60)

■デジタルオーディオプレーヤーの場合

リモコンの**[D.AUDIO►/❚❚]**キーを押し、再生を一時停止します。
録音したい曲を選んだり、録音したい箇所で一時停止します。(P.56)

■ラジオの場合

選局します。(P.52)

4 デジタルオーディオプレーヤーを操作して録音を開始する

5 再生を始める

■CD、USB、iPodの場合

[CD►/❚❚]、**[USB►/❚❚]**、**[iPod►/❚❚]**キーを押し、再生を始めます。

■デジタルオーディオプレーヤーの場合

[D.AUDIO►/❚❚]（リモコンのみ）キーを押し、再生を始めます。

■ラジオの場合

この手順は不要です。

■録音を停止する

[■]キーを押す。

● デジタルオーディオプレーヤーの録音を停止させる場合は、接続しているデジタルオーディオプレーヤーを操作してください。

■録音した音が歪む、または小さいと感じた場合

● 録音レベルを調整してください。(P.102)

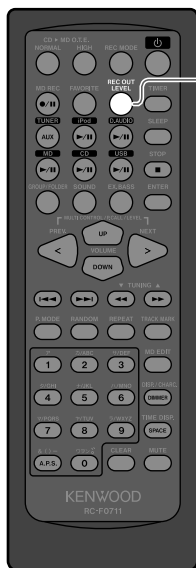
録音レベルを調整する

デジタルオーディオプレーヤーに録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は、出力レベルを調整して合わせることができます。

出力レベルを選ぶ

[REC OUT LEVEL]キーを押すたびに切り替わります。

REC OUT LOW

REC OUT HIGH

● **[REC OUT]** 端子にケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続する場合は、それぞれの機器に最適な録音レベルを選んでおくことをおすすめします。

● 音源がデジタルオーディオプレーヤーのときは、**[REC OUT]** 端子に接続しているデジタルオーディオプレーヤーを取り外してから調整してください。

音質設定編

ステレオシステムならではの音質設定をお楽しみください。
低音を強調するEX.BASSや、それぞれの曲に最適な音質を
SOUNDで調整できます。

EX.BASS

SOUND

♪

EX.BASS

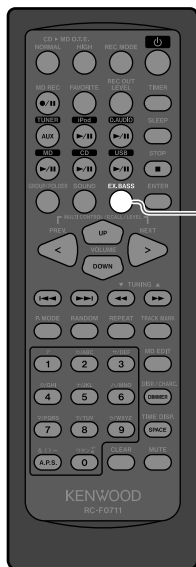
低音域を楽しむために、EX.BASS を設定します。

低音域を強調する

[EX.BASS]キーを押す

[EX.BASS]キーを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

“EX. BASS”が点灯

“EX. BASS”が消灯

● EX.BASS機能をオンにすると、SOUND機能は無効になります。

SOUND

低音域と高音域を調整して、お好みのサウンドに設定できます。

高音域と低音域を調整する

1 [SOUND]キーを押して音域を選ぶ

[SOUND]キーを押すごとに、切り換わります。

BASS 0 TONE ― “BASS”（低音域）の調整

TREBLE 0 TONE ― “TREBLE”（高音域）の調整

VOLUME 15 ― ● 5秒後にもとの表示に戻ります。

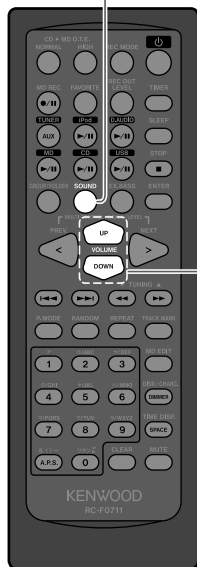
2 レベルを調整する

[UP]または**[DOWN]**キーを押す

BASS +2 TONE

● “BASS”、“TREBLE”とも−3 ～＋3の範囲で調整できます。

● “BASS”、“TREBLE”いずれかを0以外に設定すると、“TONE”が点灯します。

● SOUND機能を設定すると、EX.BASS機能はオフになります。

機器設定編

基本的な時刻設定のほか、タイマーやディスプレイ設定など、本機をより便利に使いこなしていただくための機能を説明しています。

時刻設定

本機の時計を正しい時刻に合わせます。プログラムタイマーで再生をする場合、時刻が正しく設定されていないと、正しい時間にプログラムを作動させることができません。

1 [TIMER]キーを押す

[<]または[>]キーを押す

TIME ADJUST ▶ [ENTER]キーを押す

● 時刻がすでに設定されている場合は、時刻表示となります。
[ENTER]キーを押して手順2に進みます。

2 曜日を合わせる

[<]または[>]キーを押して「曜日」を合わせる

MONDAY AM 12:00 ▶ [ENTER]キーを押す

3 時間表示を選択する

[<]または[>]キーで選ぶ

AM 12:00 ⇄ AM 0:00 ⇄ 0:00

AM 12:00	AM 0:00	0:00
12時間表示 正午と真夜中を "12:00"と表示	12時間表示 正午と真夜中を "0:00"と表示	24時間表示

▼

[ENTER]キーを押す

4 時刻を合わせる

[<]または[>]キーを押して「時」を合わせる

SUNDAY AM [ ]:00 ▶ [ENTER]キーを押す

[<]または[>]キーを押して「分」を合わせる

SUNDAY AM 9:[ ] ▶ [ENTER]キーを押す

● 設定した曜日と時刻が表示されます。

● 間違えたときは、はじめからやり直してください。

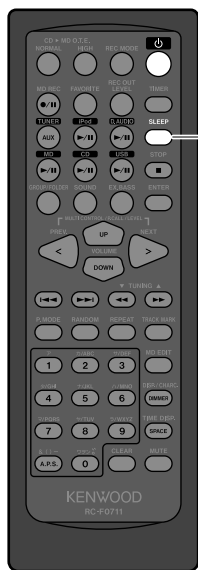
● 停電や電源プラグをコンセントに入れ直した場合は、もう一度時刻を設定し直してください。

● 電源がスタンバイ状態（OFF）のとき、[DISP./CHARC.]キーを押すと5秒間時刻を表示します。

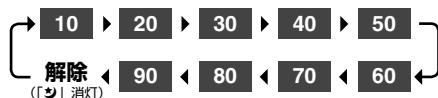
タイマー設定

設定した時間が過ぎると自動的に電源がオフになるおやすみタイマーと、設定した時間になると、再生や録音を始めるプログラムタイマーがあります。

おやすみタイマーを設定する（SLEEP）

設定した時間が過ぎると自動的に電源がオフになります。電源オフまでの時間を 10 分から 90 分まで 10 分単位で設定できます。

1 [SLEEP]キーを押す

押すごとに10分単位で時間が長くなります。
90分の次はタイマーオフになります。

SLEEP 50 ― セットする時間

おやすみタイマー設定中

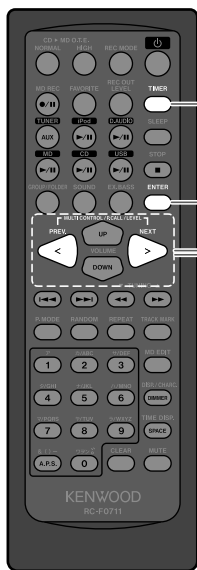
- おやすみタイマーを設定すると、ディスプレイ表示が暗くなり、イルミネーションも消えます。
- おやすみタイマー動作中に**[SLEEP]**キーを押すと残り時間を確認できます。

■おやすみタイマーをキャンセルするには

電源[⏻]キーを押してオフ（スタンバイ）にするか、**[SLEEP]**キーを押して「」を消灯させる。

プログラムタイマーを設定する（PROGRAM）

タイマーを利用して、設定した時間に自動的に再生または MD への録音を開始します。2 つのタイマー（PROG. 1、PROG. 2）を同時に設定しておくことができます。ラジオ、外部機器を録音できます。

- あらかじめ本機の時計を合わせておいてください。（P.108）
- ラジオを選ぶ場合は、あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。（P.54）
- PROGRAM1とPROGRAM2の作動する時間が重ならないように、1分以上の間を開けて設定してください。

1 [TIMER] キーを押す

[<]または[>]キーを押す

[ENTER]キーを押す

2 “PROG. 1” または “PROG. 2” を選ぶ

[<]または[>]キーを押す

PROG.1 SET

[ENTER]キーを押す

3 “ON” または “OFF” を選ぶ

[<]または[>]キーを押す

PROG.1 OFF

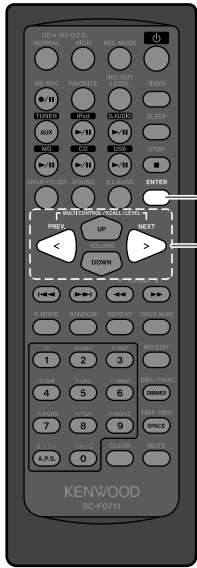
例）PROGRAM 1を無効にする場合

PROG.1 ON

例）PROGRAM 1を有効にする場合

[ENTER]キーを押す

- “OFF” を選ぶと操作が終了し、もとの表示に戻ります。

関連情報
●放送局を記憶させる→P.54
●時刻設定→P.108

4 タイマー実行曜日を選ぶ

[<]または[>]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。

[ENTER]キーを押す

● “EVERYDAY”、“MON-FRI”、“TUE-SAT” または “SAT-SUN” を選んだ場合は、手順6に進みます。

5 “EVERY WEEK”（毎週）または “ONETIME”（1回）を選ぶ

[<]または[>]キーを押す

●毎週タイマーが実行されます。

●設定したタイマーが一度だけ実行されます。

[ENTER]キーを押す

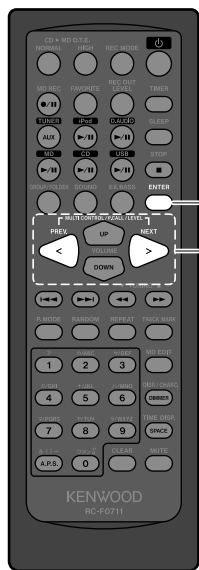
6 “ON TIME”（開始時間）を設定する

[<]または[>]キーを押して「時」を合わせる

[ENTER]キーを押す

[<]または[>]キーを押して「分」を合わせる

[ENTER]キーを押す

次ページに続く

7 “OFF TIME”（終了時間）を設定する

[<]または**[>]**キーを押して｢時｣を合わせる

▶ **[ENTER]**キーを押す

[<]または**[>]**キーを押して｢分｣を合わせる

▶ **[ENTER]**キーを押す

8 “PLAY”、“REC” または “AI PLAY” を選ぶ

[<]または**[>]**キーを押す

PLAY

● 手順9で設定する音量で再生されます。

REC

● 手順10で設定する音源を録音します。

AI PLAY

● 手順9で設定する音量まで徐々に大きくなります。

[ENTER]キーを押す

9 音量を設定する

[<]または**[>]**キーを押す

VOLUME 10

▶ **[ENTER]**キーを押す

● **[VOLUME]**キーでは設定できません。

10 音源を選ぶ

[<]または**[>]**キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。

タイマー再生の場合

▶ **[ENTER]**キーを押す

タイマー録音の場合

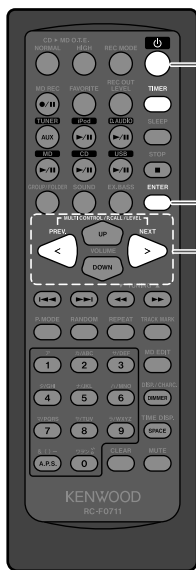
PLAY TUNER ↔ PLAY AUX

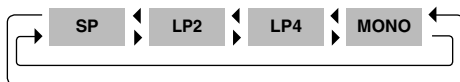
▶ **[ENTER]**キーを押す

● “TUNER” 以外の音源を選んだときは設定が完了し “COMPLETE” が表示された後、元の表示に戻ります。

● “TUNER” を選んだときは**[<]**または**[>]**キーでプリセット番号を選び、**[ENTER]**キーを押します。設定が完了し “COMPLETE” が表示された後、元の表示に戻ります。

関連情報

● 時刻設定→P.108

11 録音モードを選ぶ（タイマー録音のみ）

[<]または[>]キーを押す

[ENTER]キーを押す

● 録音先は「NON Gr」に録音されます。

12 電源[⏻]キーを押して電源をオフにする

● 本体の**[STANDBY/TIMER]**インジケーターがオレンジ色に点灯します。

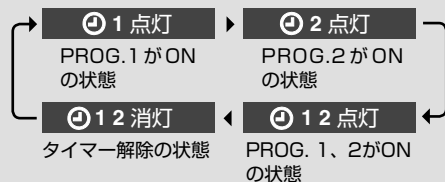
■設定を途中でやめるには

[TIMER]キーを押す。

■タイマーを解除（オフ）/再設定（オン）するには

電源がオンのときに、**[TIMER]**キーを2秒以上押し続ける。

[TIMER] キーを2秒以上押し続けるごとに切り換わります。

PROG.1 が ON の状態
PROG.2 が ON の状態
タイマー解除の状態
PROG. 1、2がON の状態

● タイマーを解除（オフ）しても、設定内容は残ります。

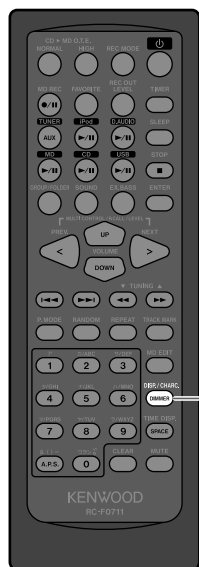
● 停電や電源プラグをコンセントに入れ直した場合は、**[STANDBY/TIMER]**インジケーターが赤色に点灯します。もう一度時刻を合わせてください。（P.108）

● 予約内容を変更したいときは、タイマー予約を最初からやり直してください。

ディスプレイ設定

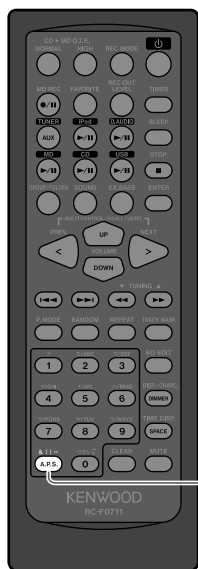
ディスプレイの明るさを調節します。

ディスプレイの明るさを設定する（DIMMER）

ディスプレイの明るさを 2 段階で調節できます。お好みやお部屋の状態によって調節してください。

1 [DIMMER]キーを2秒以上押す

2秒以上押すたびに次のように切り換わります。

オートパワーセーブ

オートパワーセーブ（A.P.S.： Auto Power Save）とは、MD、CD または USB の再生が停止したまま 30 分以上何も操作しないと、自動的に電源がオフになる機能です。

[A.P.S.]キーを2秒以上押す

2秒以上押すたびにON/OFFが切り換わります。

“A.P.S.”が点灯

“A.P.S.”が消灯

- 入力が「TUNER」、「D.AUDIO」、「iPod」または「AUX」のときは、音量がゼロ（VOLUME 0）またはMUTEがオンのときに働きます。
- **[REC OUT]**端子に接続した機器に録音するときは、A.P.S.をオフにするか、音量をゼロより上げて録音してください。

保守編

エラーメッセージが表示されたときやトラブルが起きたときの対処方法、さらに長くご愛用いただくための保管やお手入れ方法について説明しています。

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意味
BLANK MD	●MDに何も録音されていない。
Can't COPY	●コピー禁止のCDを、MDに録音しようとしている。 →ANALOG録音モードに切り換えて録音する。(P.68、74)
Can't EDIT	●MDの編集ができない。
Can't READ * (*は数字や記号)	●CD/MDのディスク情報が正常に読めない。 →ディスクが汚れている。「CDディスクの保管とお手入れ」または「MDの保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。(P.127) →ディスクを正しく挿入口の中央に入れる。(P.32) ●CDが正しい向きで入っていない。 →CDを正しい向きで入れ直す。(P.32)
Can't REC	●MP3やWMAのオーディオファイルを記録したディスクを、ワンタッチエディット録音しようとした。 →「さまざまな音源から、MDに録音する」を参照して録音する。(P.74) ●MDに正しく録音できない。 →ALL ERASEを行う(P.79) それができない場合は、MDを取り替える。
Can't T REC	●タイマー録音ができない。
Can't WRITE	●MDの編集ができない。　TOC*1情報が正しく作成できない。
CD NO DISC	●CDが入っていない。 →CDを入れる。(P.32)
DISC FULL	●MDに録音できる空きがない。 →録音用のMDを入れ替える。
Er-CD01	●CD部が正常に動作していない。 →修理を依頼してください。
Er-MD** (**は数字や記号)	●MD部が正常に動作していない。 →修理を依頼してください。
GROUP DISC	●グループ録音されたMDを、グループモードに設定しないで編集しようとした。 →グループモードに設定する。(P.48)
GROUP FULL	●グループ数が99を超えている。 →一枚のMDに作成できるグループ数は99まで。
MD NO DISC	●MDが入っていない。 →MDを入れる。(P.44)
MD WRITING	●MDを編集や録音したときの情報を書き込んでいる。
NAME FULL	●MDの各タイトル文字数が40文字を超えている。 →MDのタイトルの文字数は40文字まで。
NO TITLE	●MDにタイトルが付いてないのにネームメモをしようとした。
NO TRACK	●MDに再生、編集する曲がない。

ディスプレイ表示	意味
NOT AUDIO	●MDにオーディオ用でないデータが記録されている。
NOT SUPPORT	●著作権保護されたWMAオーディオファイルまたは、再生できないファイル形式のデータを再生しようとした。 ●再生できるMP3やWMAのオーディオファイルが無い。
PLAY ONLY	●再生専用MDに録音、編集をしようとした。 →録音用のMDを入れる。
PROTECTED	●MDが誤消去防止になっている。 →誤消去防止つまみを「録音可能」側に動かす。(P.30)
REMOVE OK	●USB機器を外す準備ができた。 →USB機器を、[•⭠USB]端子から取り外す。(P.35)
TOC FORM ** (**は数字や記号)	●記録されているTOC*1情報に異常があり、読めない。
TOC FULL	●MDに曲番を登録する空きが無い。
TOC FULL1	●MDのTOC*1に、文字情報を登録する空きが無い。
USB NO MEDIA	●USB機器が接続されていない。　USB機器が認識できない。 →接続を確認する。(P.18)
WAIT **m GUARD*2 (**は数字)	●ハイスピードでMDに録音ができない。 →**分待つ。(**は表示された分数) →通常速度で録音する。(P.72、73)
?DISC	●音楽以外が記録されたMDを使用した。 →音楽だけが録音されたMDを使用する。
**　READING (**はメディア名称)	●メディアのTOC*1情報を読んでいる。

＊1：CDとMDには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。TOC以外に録音用MDに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

＊2：1min ～ 74min

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置	参照ページ
音が出ない	●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。 ●音量を上げる。 ●ミュートを解除する。 ●ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。	14～19 24 24 19
ヘッドホンから音が出ない	●ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 ●音量を上げる。 ●ミュートをオフにする。	19 24 24
スピーカーの片側から音が出ない	●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。	14
時刻が表示されない	●「時刻設定」を参照し、時刻を合わせる。	108
タイマーが作動しない	●プログラムタイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	110～113

チューナー部

症　状	処　置	参照ページ
放送局が受信できない	●アンテナを接続する。 ●放送バンド（受信モード）を合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 ●本体、アンテナ、ACアダプターのそれぞれを遠ざける。	14 52 53 14、15
雑音が入る	●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。 ●本体、アンテナ、ACアダプターのそれぞれを遠ざける。	― ― ― 14、15

USB部

症　状	処　置	参照ページ
USBフラッシュメモリまたはUSBオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	●USBフラッシュメモリを正しく差し込む。 ●USBケーブルを正しく接続する。 ●USBオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。	18 18 34

CD部

症　状	処　置	参照ページ
CDを入れても 再生できない	●レーベル面を手前にして、正しく入れる。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。 ●「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。 ●スライドドアを閉める。	32 127 127 32
音声が出ない	●[CD►/II]キーを押す。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。	32 127
音とびがする	●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。	127
再生できないオーディオファイルがある	●オーディオファイルが壊れている場合は再生できません。 ●本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	 27
再生するまでに時間がかかる	●フォルダ数やファイル数が多いときは再生するまでに時間がかかる場合があります。	27
TAG情報が正しく表示されない	●「再生できるオーディオファイル」を参照し本機で表示できるTAG情報を確認する。	27
CDが取り出せない	●スライドドアを奥にスライドすると、再生が停止しCDが出てきます。 それでもCDを取り出せないときは、以下の手順に従ってCDを取り出してください。 **❶音源がCDであることを確認する。** **（再生していれば[■]キーを押して、再生を停止する。）** **❷スライドドアを奥にスライドして開ける。** **❸本体の[■]キーを2秒以上押し続ける。** **CDが完全に出るまで本体の[■]キーを押し続けてください。** 上記の方法でもCDが取り出せないときは、修理を依頼してください。	―

MD部

症　状	処　置	参照ページ
再生キーを押しても 音が出ない	●録音済MDまたは再生用MDを入れる。	—
録音ができない	●誤消去防止つまみをふさぐか、録音可能なMDに取り換える。 ●録音したい音源に切り換える。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 アナログ録音に切り換える。 ●同じ曲を一定時間内に再び4倍速録音しようとしている。 HCMSによりできません。 定速録音に切り換える。	30 30、68 30、72
D.AUDIOの 録音レベルが低い	●D.AUDIO入力レベルを調整する。	59
D.AUDIOの録音後 音がひずむ	●D.AUDIO入力レベルを調整する。	59
MDが入らない	●本体上部のスライドドアを手前にスライドする。再度MDを入れ直す。	44
MDが取り出せない	●スライドドアを手前にスライドすると、再生が停止しMDが出てきます。 それでもMDが取り出せないときは、修理を依頼してください。	

MD部（MD規格上の症状）

症 状	処 置	参照ページ
MDを入れても録音できない	●256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、表示部の録音残量時間表示は“0:00”になります。	—
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない	●MD全体の残り時間が12秒未満の場合は、表示部の録音残量時間表示は“0:00”になります。 消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ●編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。	—
曲をつなぐことができない	●編集処理の結果としてできた曲は、つなげない場合があります。 ●異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2 ●他のNet MD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲は、つなぐことができません。	—
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間（60分、74 分、80分）と一致しない	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3	—
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。	—
トラック（曲）番号が正しくつかない	●録音した音源（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。 ●1曲の時間が短すぎる場合は、トラック番号がつかない場合があります。*4	—
“READING”が表示される時間が異常に長い	●新品の録音用MD（全く録音されていなもの）を入れた場合、通常よりも長い間“READING”が表示されます。	—
モノラル録音されたMDのとき、時間表示が不正確になる	●モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。	—

＊1：録音モードがSP（ステレオ録音）モードの場合（LP2/MONOモードの場合：24秒　LP4モードの場合：48秒）

＊2：SP（ステレオ録音）モード、LP2（ステレオ2倍長時間録音）モード、LP4（ステレオ4倍長時間録音）モード、MONO（モノラル録音）モード

＊3：録音モードがSPモードの場合（LP2/MONOモードの場合：4秒　LP4モードの場合：8秒）

＊4：DIGITAL録音モードの場合
（SPモード：約4秒、LP2/MONOモード：約8秒、LP4モード：約16秒）
ANALOG録音モードの場合
（SPモード：約2秒、LP2/MONOモード：約4秒、LP4モード：約8秒）

[D.AUDIO IN]端子に接続した機器

症　状	処　置	参照ページ
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン/本体で操作できない	●専用接続ケーブル PNC-150（別売）で接続する。 ●非対応モデルを接続していないか確認する。	18 56

[iPod]端子に接続した機器

症　状	処　置	参照ページ
iPodが認識されない	●iPod接続ケーブルPNC-iP120（別売）で接続する。 ●iPod接続ケーブルPNC-iP120をしっかり接続する。 ●本機で再生できるiPodか確認する。	19 19 29
iPodをコントロールできない	●iPodを本体から取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。 ●本機で再生できるiPodか確認する。	19 29
レスポンスが悪くなった	●iPod内の曲数が多くなると、レスポンスが悪くなることがあります。特に、曲数が多くシャッフルをオンにしていると、iPodの動作自体の反応が悪くなることがあります。	29

リモコン部

症　状	処　置	参照ページ
リモコンで操作できない	●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。	23 23

マイコンをリセットするには

症　状	処　置
マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）する	リセット操作（本体のみ） ❶電源オフ（電源[⏻]キーを押してスタンバイ状態） ❷本体の[►►I]キーと[STOP■]キーを押しながら、本体の電源[⏻]キーを押し続ける （“CLEAR ALL”と表示されるまで） CLEAR ALL ●リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。

用語集

用　語	意　味	ページ
CD-DA	音楽CDのこと。一般的に「CD」といえば、ほとんどの場合、CD-DAを指します。	26
CD-TEXT	ディスク名、アーティスト名、曲名等の文字情報が記録された音楽CDの呼称。	32
Hi-MD	これまでのMDと再生の互換性があり、録音時間を最大45時間まで拡張したもの。本機では対応していません。	26
MD-Clip	これまでのMDに静止画像を記録できるようにした規格の呼称。	26
MP3	独Fraunhofer IISが開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/11（128kbps）に圧縮することができます。	27
Net MD	パソコン上の音楽データをUSB経由でMDに転送する規格。	81
USBハブ	複数のUSB機器を同時に接続するためのアダプター。	28
USBマスストレージクラス	USB機器をパソコンで制御するための規格。またパソコンに接続したUSB機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。	18、26
VBR （可変ビットレート）	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。	27
WMA	米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。	27
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を1秒間に何回行うかを示す数値。音楽CDの場合は44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となります。	27
チェックアウト	パソコンからNet MD対応機器を使ってMDへ音楽データを転送すること。	81
ビットレート	1秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となります。	27

保管とお手入れ

本機の保管とお手入れ

■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

■結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

■汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

CDディスクの保管とお手入れ

■保管するときは

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

■汚れたら

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで、放射状に軽くふきとってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは使わないでください。

■その他お守りいただきたいこと

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。

接続機器の保管とお手入れ

必ず各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

MDの保管とお手入れ

■保管するときは

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

■汚れたら

- 定期的に、カードリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふきとってください。
- レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

■その他お守りしていただきたいこと

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書（別途）

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談・ご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」P.130をご覧ください。）

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

■保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

■出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所
（ご近所の目印等も併せてお知らせください。）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

■保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

- 技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代： 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

使いかたや製品に対するお問合せは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）　**2007年11月現在**

北海道

札幌サービスセンター	〒 007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎ (011) 743-7740

東北

仙台サービスセンター	〒 984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和1F)	☎ (022) 284-1171

関東・信越

さいたまサービスセンター	〒 330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2(JA 共済埼玉ビル1F)	☎ (048) 647-6818
千葉サービスセンター	〒 277-0081	柏市富里1-2-1	☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	〒 950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎ (025) 287-7736
目黒サービスセンター※	〒 153-0042	目黒区青葉台3-17-9	☎ (03) 3477-5411

中部・甲州

名古屋サービスセンター	〒 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎ (052) 917-2550
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 920-0036	金沢市元菊町21-87	☎ (076) 265-5045

近畿・四国

大阪サービスセンター	〒 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8075
高松サービスセンター	〒 760-0068	高松市松島町3-1	☎ (087) 835-2413

中国

広島サービスセンター	〒 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210

九州

福岡サービスセンター	〒 815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎ (092) 551-9755
鹿児島サービスセンター	〒 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	〒 901-2101	浦添市西原4-36-17(株)物琉2F	☎ (098) 874-9010

● ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内：
午前10 時から午後6 時まで
月曜日～金曜日（土曜、日曜、祝日及び当社休日を除く）

※ 目黒サービスセンターは修理持込専用窓口となっております。
電話でのお問合せはカスタマーサポートセンターへの転送にて承ります。

カスタマーサポートセンター

カスタマーサポートセンター

●ナビダイヤル　☎ 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP 電話からのご利用は　☎ (045) 933-5133　FAX (045) 933-5553

● 営業時間のご案内：
月曜～金曜　午前9 時30 分から午後6 時
土曜　午前9 時30 分から午後12 時、午後1 時から午後5 時30 分
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

●住所　〒 226-8525　横浜市緑区白山1-16-2

定 格

本体部（RD-CLK7）

[アンプ部]

実用最大出力 .... 10 W + 10 W（JEITA 6 Ω）
EX.BASS .... +4 dB (70 Hz、Vol. 20)
入力端子（感度／インピーダンス）
LINE (D. AUDIO/AUX)
.... 600 mV / 47 kΩ (入力レベル0時)
出力端子（レベル／インピーダンス）
REC OUT (D. AUDIO).......... 2.2 V / 10 kΩ (HIGH)
1 V / 10 kΩ (LOW)
SUB WOOFER PREOUT ....2.2 V / 10 kΩ

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲 .... 76 MHz ～ 90 MHz
アンテナインピーダンス............................. 75 Ω不平衡
AMチューナー部
受信周波数範囲 .... 531 kHz ～ 1,629 kHz

[USB部]

対応USB機器..................... USBマスストレージクラスデバイス
インターフェイス...........USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
対応ファイルシステム..FAT 16/32
再生フォーマット／形式
MP3 サンプリング周波数...............................8 kHz～48 kHz
ビットレート(CBR/VBR ※) ....32 kbps～320 kbps
WMA (WMA9準拠、DRM非対応) サンプリング周波数
....32 kHz～48 kHz
ビットレート(CBR/VBR ※).......... 64 kbps～192 kbps
ID3タグ .... Version 1.0/ 1.1/ 2.2/ 2.3
最大フォルダ数... 255
最大フォルダ階層数...8階層
最大ファイル数... 65280 (FAT 32時)
供給電流 .... 最大500 mA

※ VBRのオーディオデータは、上記のビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

[iPod部]

最大供給電源 ....DC 5 V / 500 mA

[CDプレーヤー部]

読み取り方式 ...... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター ....20 ビット
オーバーサンプリング........................... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (JEITA) .... 20 Hz ～ 20 kHz
MP3 / WMA 最大フォルダ数......................................512
最大フォルダ階層数..8階層
MP3 / WMA 最大ファイル数......................................512

[MDレコーダー部]

読み取り方式 ...... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 ....ATRAC/ATRAC 3
D/Aコンバーター ....20 ビット

[電源部・その他]

付属ACアダプター
........................DC 12 V (AC 100 V、50 Hz/60 Hz)
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）..........14 W
待機時消費電力...2 W
最大外形寸法 .... 幅 210 mm
高さ 228 mm
奥行 187 mm
質量（重量）..2.6 kg(正味)

スピーカー部（LS-CLK7）

エンクロージャー.. バスレフ方式
スピーカーユニット............................... フルレンジ80 mm
インピーダンス...6 Ω
最大入力 ....20 W
防磁対応 ....対応 (JEITA GRADE 2)
最大外形寸法 .... 幅 149 mm
高さ 191 mm
奥行 128 mm
質量（重量）... 1.2 kg(1本)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日〜金曜日　**9:30 〜 18:00**
土曜日　**9:30 〜 12:00、13:00 〜 17:30**
※日曜、祝日及び当社休日を除く

0570-010-114

※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
- FAX　**045-933-5553**

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒 192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3